

令和4年度学校推薦型選抜 学生募集要項

出願期間 令和3年11月1日（月）～6日（土）【必着】
（インターネット出願システムへの登録は10月25日（月）から可能）

入試実施日 令和3年11月20日（土）・21日（日）
※21日（日）は一部の専攻・コースのみ

【重要】

今後の新型コロナウイルス感染症の状況等によっては、入学者選抜の方法や日時等を変更する場合があります。変更する場合は、本学ウェブページでお知らせします。



目 次

出願から入学手続までの流れ	1
学校推薦型選抜について	2
アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）	3
I 大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜	12
1 募集人員	13
2 出願資格及び要件	13
3 出願期間・出願方法等	18
4 入学者選抜方法等	22
5 入学前教育について【美術・書道教育コースのみ】	27
II 大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜	28
1 募集人員	29
2 出願資格及び要件	29
3 出願期間・出願方法等	36
4 入学者選抜方法等	41
III 大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）	55
1 募集人員	56
2 出願資格及び要件	56
3 出願期間・出願方法等	57
4 入学者選抜方法等	60
5 入学後の検証等について	62
各推薦共通	63
1 入学試験場	63
2 合格者の発表	63
3 入学手続等	63
4 一般選抜との併願について	65
5 個人情報の取扱いについて	65
6 入学検定料等の返還請求について	65
学生生活案内	66
麻しん（はしか）の予防について《お知らせ》	69
令和4年度大学入学共通テスト受験教科・科目の確認表 （共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠を含む）のみ）	70
インターネット出願方法	73

出願から入学手続きまでの流れ



学校推薦型選抜について

大阪教育大学では、入学定員の一部について、出身学校長の推薦に基づき、次のとおり学校推薦型選抜を実施します。

なお、国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す（特別枠を含む）場合、課さない場合を含めて）への出願は、一つの大学・学部に限られていますのでご注意ください。

ただし、学校推薦型選抜に不合格となった場合に備え、本学又は他の国公立大学・学部（※独自日程で入学試験を行う公立大学・学部を除く。）の一般選抜については、「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つの合計二つの大学・学部に出願できます。また、前期日程グループ及び後期日程グループに属さない大学・学部への出願については特に制限がありません。

※公立大学協会ホームページ（<http://www.kodaikyo.org/>）参照

募集する課程・学科・専攻・コース

◆大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜

キャンパス	課程・学科	専攻	コース	募集人員（注1）
柏原	学校教育 教員養成課程	中等教育専攻	技術教育コース	4人
			美術・書道教育コース【美術分野】	3人
	教育協働学科	芸術表現専攻	音楽表現コース	9人
		スポーツ科学専攻		20人

◆大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜

キャンパス	課程・学科	専攻	コース	募集人員（注1）
天王寺 （注2）	初等教育 教員養成課程	幼児教育専攻		3人
		小学校教育専攻	昼間コース	10人
			夜間5年コース	5人
柏原	学校教育 教員養成課程	特別支援教育専攻		7人
		小中教育専攻	学校教育コース	8人
			国語教育コース	7人
			英語教育コース	4人
			社会科教育コース	7人
			理科教育コース	5人
			家政教育コース	2人
			音楽教育コース	3人
		中等教育専攻	国語教育コース	3人
			英語教育コース	4人
			社会科教育コース	4人
			理科教育コース	3人
			家政教育コース	3人
			保健体育コース	5人
			音楽教育コース	3人
	教育協働学科	グローバル 教育専攻	英語コミュニケーションコース	10人
			多文化リテラシーコース	15人

◆大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）

キャンパス	課程・学科	専攻	コース	募集人員（注1）
天王寺 （注2）	初等教育 教員養成課程	小学校教育専攻	昼間コース	5人

（注1）合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。

（注2）初等教育教員養成課程の幼児教育専攻及び小学校教育専攻昼間コースは、1～2年次を柏原キャンパスで修学します。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

「大阪教育大学アドミッション・ポリシー」

1. 基本理念・目標

大阪教育大学は、我が国の先導的な教員養成大学として、教育の充実と文化の発展に貢献し、とりわけ教育界における有為な人材の育成をととして、地域と世界の人々の福祉に寄与する大学であることを使命としています。この使命を達成するため、大阪教育大学では人と真摯に向き合う姿勢を基に、学生一人ひとりの個性を尊重した教育を推進していきます。

教育学部の各課程・学科、大学院教育学研究科、大学院連合教職実践研究科、特別支援教育特別専攻科では、この理念・目標に沿った人材の養成や育成をめざしています。

なお、本学では教育学部及び大学院において外国人留学生の受入れを積極的に進めています。

2. 求める学生像

（教育学部）

- ・子どもの未来への使命感と教職への意欲や強い関心を持つ人
- ・教員として教育現場を担える十分な基礎学力と旺盛な探求心を持つ人
- ・幅広く専門分野を学ぶことにより広い視野や柔軟な思考力の修得をめざす人
- ・現代社会への幅広い関心と自らの課題意識を持って積極的に社会参画をめざす人

（大学院教育学研究科）

- ・学校や地域が抱える課題に強い関心を有する人
- ・特定分野において専門性や優れた実務・実践経験を有し、これを活用して教育・学習支援に参画することを志す人
- ・教育現場の課題について実践的研究を行うことで、学校改革に向けて先導的・中核的な役割を担うことを志す人

（大学院連合教職実践研究科）

- ・学校や地域の指導的・中核的な教員として高度で優れた実践力の獲得をめざす現職教員
- ・新しい学校づくりの担い手として自ら学び続けることで実践的指導力の獲得をめざす人

（特別支援教育特別専攻科）

- ・特別支援教育教員をめざすために必要な基礎学力があり、十分な教育実践力を身につけようとする意欲にあふれる人
- ・特別支援教育の教職に就くことを強く希望し、その意志を持ち続けることができる人
- ・障がいのある子どもたちの成長にかかわることにやりがいと使命を感じることができる人
- ・人とコミュニケーションを図る優れた能力や個性を備えている人
- ・これまでの生活体験をととして、学校や教育への親しみや関心を強く抱いている人

（外国人留学生）

上記の学部若しくは大学院の求める学生像に加えて、次のような人を求めています。

- ・一定の日本語能力と大学教育を受けるに必要な基礎学力を持つ人
- ・日本の文化や社会についての理解や経験を活かして国際的に活躍することをめざす人

3. 入学者選抜の基本方針

本学では、各募集区分の基本理念・目標等にふさわしい学生を受け入れるために、次の入学者選抜を実施します。

教育学部においては、学力の3要素（①知識・技能、②思考力・判断力・表現力、③主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）等を多面的・総合的に評価して入学者を選抜するため、一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜、私費外国人留学生入学試験、第3年次編入学試験の多様な入学者選抜を実施します。

大学院教育学研究科においては、学校内外での教育・学習支援への関心、専門分野に関する知識・技能や学び続ける意欲等を総合的に評価して入学者を選抜するため、大学院入学者選抜を実施します。

大学院連合教職実践研究科においては、教職に必要とされる知識や学び続ける意欲等を総合的に評価して入学者を選抜するため、大学院入学者選抜を実施します。

特別支援教育特別専攻科においては、特別支援教育の教職に必要とされる基礎学力や特別支援教育への意欲等を総合的に評価して入学者を選抜するため、特別支援教育特別専攻科入学者選抜を実施します。

「初等教育教員養成課程アドミッション・ポリシー」

1. 基本理念・目標

初等教育教員養成課程では、グローバルな視野と豊かな教養を身に付け、幼稚園と小学校との連携をふまえた専門的知識・技能及び優れた実践力・応用力を有する教員を養成します。そのために、教養科目及び基礎的科目を修得しながら、教職に関わる科目を幅広く学ぶとともに、一人ひとりの子どもの人権や安全を守る教育についての知識や能力を養い、幼児教育と小学校教育の双方の専門分野について学修を深めます。

本課程に置く「幼児教育専攻」では、幼児を理解する力や豊かな表現力を身に付け、小学校教育との接続を踏まえた幼児教育について総合的な視点をもつ実践力のある幼稚園教員の養成を目的としています。

「小学校教育専攻」の昼間コースでは、児童を理解する力や基礎的な指導力を身に付け、幼児教育との接続を踏まえた小学校教育について総合的な視点をもつ実践力のある小学校教員の養成を目的としています。

「小学校教育専攻」の夜間コースでは、昼間の勤務経験や教育現場でのインターンシップ活動など豊富な経験をもとに、豊かな人間性と社会性を備え、かつ、幼小連携に関心を持ち、優れた実践的能力を備えた小学校教員の養成を目的としています。なお、夜間コースの編入生に対しては、学生一人ひとりの学歴や専門性を活かして、優れた実践的能力を備えた小学校教員の養成を目的としています。また、現職教員についても、個性や経歴を尊重した教育を行います。

2. 求める学生像

- ・教職に就くことを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- ・教育や子どもの発達について、強い興味・関心と問題意識を持っている人
- ・明朗で協調性に富み、多様な人とのコミュニケーションが図れる人
- ・学校現場での豊富な体験や子どもとのふれあいなどを通して、確かな教育実践力を身に付けようとする人
- ・高等学校等で履修した教科・科目全般にわたる基礎学力を十分に身に付け、I C Tの活用に積極性のある人

3. 入学者選抜の基本方針

基本理念・目標等にふさわしい学生を受け入れるために、次の入学者選抜を実施します。なお、各選抜区分については、学力の3要素及び教職に就く強い意欲を別表のとおり評価します。

学校推薦型選抜では、「大学入学共通テスト」・「実技検査」・「面接」・「活動報告書等」を課します。

「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。

「実技検査」では、幼児教育に関する理解・関心度・意欲を総合的に評価します。表現力や協調性についても評価します。

「面接」では、論理性・表現力・応用能力をみるとともに、学校教育・教職への熱意・適性について総合的に採点・評価します。

「活動報告書等」では、高等学校等で経験・修得したさまざまな分野（教育に関する分野を含む）における活動・技能等を評価します。

一般選抜（前期日程）では、「大学入学共通テスト」・「小論文」・「面接」・「活動報告書等」を課します。

「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。

「小論文」では、提示された資料に対する理解力や思考力・発想力・論理的構成力を中心に総合的に評価しますが、文章表現力についても採点・評価の対象とします。

「面接」では、論理性・表現力・応用能力をみるとともに、学校教育・教職への熱意・適性について総合的に採点・評価します。

「活動報告書等」では、高等学校等で経験・修得したさまざまな分野（教育に関する分野を含む）における活動・技能等を評価します。

一般選抜（後期日程）では、「大学入学共通テスト」・「面接」・「活動報告書等」を課します。

「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。

「面接」では、論理性・表現力・応用能力をみるとともに、学校教育・教職への熱意・適性について総合的に採点・評価します。

「活動報告書等」では、高等学校等で経験・修得したさまざまな分野（教育に関する分野を含む）における活動・技能等を評価します。

4. 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校卒業段階において求められる基礎的な学力を十分に習得したうえで、教育に関わる学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）を身に付けてください。

「学校教育教員養成課程アドミッション・ポリシー」

1. 基本理念・目標

学校教育教員養成課程では、広い視野と豊かな教養を身に付け、専門的知識・技能及び優れた教育指導力を持った学校教員を養成します。そのために、教養科目及び基礎的科目を修得したうえで、教職に関わる科目を学ぶとともに、学校安全や危機対応についての知識や能力を養い、さらに、自らが所属する専攻・コースにおいて、専門分野の学修を深めます。本課程に置く「特別支援教育専攻」では、特別支援教育に関する知識や優れた技能を持ち、特別支援学校及び通常の学校で特別支援教育に携わる教員の養成を目的としています。「小中教育専攻」では、小・中学校の教育に関する知識や技能を持ち、専門の教科などに優れ、小・中学校の連携を踏まえた指導ができる小学校教員の養成を主目的としています。「中等教育専攻」では、専門の教科を中心にした優れた教育指導力を持ち、中学校と高等学校の接続や一貫教育を踏まえた指導ができる中学校教員・高等学校教員の養成を目的としています。

2. 求める学生像

- ・高等学校で履修した教科・科目の基礎学力を十分に身に付けた人
- ・専門分野への関心があり、十分な学力と適性を持っている人
- ・教職に就くことを強く希望し、その意志を持ち続けることができる人
- ・子どもたちの成長に関わることにやりがいと使命を感じることができる人
- ・多様な年齢の人々とコミュニケーションを図る能力を身に付けようとしている人
- ・学校生活の経験をとおして、学校や教育への親しみや関心を抱いている人
- ・特別支援教育専攻では、特別支援学校及び通常の学校で特別支援教育に携わる教員をめざすために十分な教育実践力を身に付けようとする意欲あふれる人
- ・小中教育専攻では、得意分野を中心に、小学校教員や中学校教員をめざすために十分な教育実践力を身に付けようとする意欲あふれる人
- ・中等教育専攻では、得意分野があり、その分野に関し中学校教員や高等学校教員としての十分な教育実践力を身に付けようとする意欲あふれる人

3. 入学者選抜の基本方針

基本理念・目標等にふさわしい学生を受け入れるために、次の入学者選抜を実施します。なお、各選抜区分については、学力の3要素を別表のとおり評価します。

学校推薦型選抜では、「大学入学共通テスト」・「個別学力検査」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「競技成績に関する証明書」・「志望理由書」を課します。各専攻・コースにおいて以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と教職に就くことへの意欲を確かめます。

- ・各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、さらに思考力や判断力を確かめるために、「大学入学共通テスト」を課します。
- ・大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や表現力を有しているかどうかを確かめるために、「個別学力検査」を課します。
- ・総合的な理解力、思考力、発想力、表現力などを確かめるために、「小論文」を課します。
- ・大学で専門分野を学ぶに十分な技能や表現力を有しているかどうかを確かめるために、「実技検査」を課します。
- ・専門分野についての関心や学校教員となるのにふさわしい資質などを確かめるために、「面接」を課します。
- ・十分な技能を有しているかどうかを確かめるために、「競技成績に関する証明書」の提出を求めます。
- ・専門分野についての関心や教職に就くことへの意欲などを確かめるために、「志望理由書」の提出を求めます。

一般選抜（前期日程）では、「大学入学共通テスト」・「個別学力検査」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「調査書及び志望理由書」を課します。各専攻・コースにおいて以下の選抜方法を複数組み合わせるこ

とによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と教職に就くことへの意欲を確かめます。

- ・各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、さらに思考力や判断力を確かめるために、「大学入学共通テスト」を課します。
- ・大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や表現力を有しているかどうかを確かめるために、「個別学力検査」を課します。
- ・総合的な理解力、思考力、発想力、表現力などを確かめるために、「小論文」を課します。
- ・大学で専門分野を学ぶに十分な技能や表現力を有しているかどうかを確かめるために、「実技検査」を課します。
- ・専門分野についての関心や学校教員となるのにふさわしい資質などを確かめるために、「面接」を課します。
- ・専門分野についての関心や教職に就くことへの意欲などを確かめるために、「調査書及び志望理由書」の提出を求めます。

一般選抜（後期日程）では、「大学入学共通テスト」・「個別学力検査」・「小論文」・「実技検査」・「面接」を課します。各専攻・コースにおいて以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と教職に就くことへの意欲を確かめます。

- ・各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、さらに思考力や判断力を確かめるために、「大学入学共通テスト」を課します。
- ・大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や表現力を有しているかどうかを確かめるために、「個別学力検査」を課します。
- ・総合的な理解力、思考力、発想力、表現力などを確かめるために、「小論文」を課します。
- ・大学で専門分野を学ぶに十分な技能や表現力を有しているかどうかを確かめるために、「実技検査」を課します。
- ・専門分野についての関心や学校教員となるのにふさわしい資質などを確かめるために、「面接」を課します。

4. 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校卒業程度の基礎的な学力や技能を十分に修得したうえで、大学で学ぶ専門分野への関心を高めてください。さらに、子どもを教育することの意味を考え、学校教員という職業への自覚を深めてください。また、多様な人々とコミュニケーションを図り、そこから学ぶ態度も身に付けてください。

「養護教諭養成課程アドミッション・ポリシー」

1. 基本理念・目標

養護教諭養成課程では、教育学の基礎の上に、医学・看護学・養護学など、幅広い専門分野の基礎知識と実践能力を備え、健康を保持増進する能力を子どもたちが獲得できるように様々な機会を捉え支援する資質を備えた養護教諭を養成します。そのため、幅広い教養教育の基礎の上に立って、各専門分野の学修を深めるとともに、臨床（病院）実習、養護実習などをおして実践能力の向上をめざします。さらに、学校安全や危機対応についての知識や能力を養います。

2. 求める学生像

- ・養護教諭をめざすために必要な基礎学力があり、十分な教育実践力を身に付けようとする意欲にあふれる人
- ・養護教諭になることを強く希望し、その意志を持ち続けることのできる人
- ・子どもたちの健康な学校生活を支援することにやりがいと使命を感じる人
- ・人と明るく温かなコミュニケーションが図れる能力や個性を備えている人

3. 入学者選抜の基本方針

基本理念・目標等にふさわしい学生を受け入れるために、次の入学者選抜を実施します。なお、各選抜区分については、学力の3要素を別表のとおり評価します。

一般選抜（前期日程）では、「大学入学共通テスト」・「小論文」を課します。

「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。

「小論文」では、提示された資料に対する理解力や思考力・発想力・論理的構成力を総合的に評価しますが、文章表現力についても採点・評価の対象とします。

一般選抜（後期日程）では、「大学入学共通テスト」・「面接」を課します。

「大学入学共通」テストでは、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。

「面接」を通じて、論理性・表現力・応用能力、健康問題に関する理解をみるとともに、学校教育・教職への熱意・適性について総合的に採点・評価します。

4. 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校卒業程度の基礎的な学力や技能を十分に習得してください。特に、生物及び化学についての力を身に付けてください。学修していることを前提として講義を行います。

「教育協働学科アドミSSION・ポリシー」

1. 基本理念・目標

多様化し、複雑化する現代社会においては、学校の教師だけで子どもの教育を支え、学校の教育だけで社会の教育を支えることは不可能になってきています。教育協働学科は、学校現場や社会で絶え間なく発生する教育課題を解決するために、チーム学校を含む学校教育や地域教育活動を取り巻く分野（教育心理科学、健康安全科学、理数情報、グローバル教育、芸術表現、スポーツ科学）の専門性を有しつつ、教育的視点から学校、家庭、地域、社会と連携・協働することで、グローバル時代における多様な教育課題の解決を図ることができる人材の養成を目的とします。

そのため、学校と連携・協働して学校や地域における諸課題に対して教育的視点から解決を図ろうとする意欲を有する人材、また、学校教育のみならず家庭教育や社会教育においても、他者と協働しつつ高度な指導や支援、マネジメントができる人材、さらに、グローバル時代の多様な教育課題の解決を図ることが出来る人材を養成します。

2. 求める学生像

- ・自ら専門性を有しつつ教育理解をもって多様な専門家や市民と協働し、生涯教育社会における学校と地域社会と共に多様な教育課題の解決を図ることができる人
- ・自らの専門分野で高度な知識や高い技能を修得し、それらを活用して学校、家庭、地域、社会において教育理解を持って連携・協働することに意欲のある人
- ・確かな学力と旺盛な知的好奇心、人間への深い愛情を持って、教育協働に資する分野で活躍したいと考えている人

3. 入学者選抜の基本方針

基本理念・目標等にふさわしい学生を受け入れるために、次の入学者選抜を実施します。なお、各選抜区分については、学力の3要素を別表のとおり評価します。

学校推薦型選抜では、「大学入学共通テスト」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「演奏能力・創作力または競技成績に関する証明書」・「志望理由書」を課します。各専攻・コースにおいて、以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と専門への適性を確かめます。

「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。

「小論文」では、提示された資料に対する理解力や思考力、発想力、論理的構成力を総合的に評価しますが、文章表現力についても評価の対象とします。

「実技検査」では、専門的な実技能力や表現力などを評価します。

「面接」を通じて、論理性や表現力、応用能力をみるとともに、各専門分野への熱意や適性について総合的に評価します。

「演奏能力・創作力または競技成績に関する証明書」では、募集要項に示された出願資格に関わる大会における競技会・発表会の成績で、実技能力や創作力を評価します。

「志望理由書」では、芸術及び教育の分野で活躍する意欲を評価します。

一般選抜（前期日程）では、「大学入学共通テスト」・「個別学力検査」・「小論文」・「実技検査」・「志望理由書」を課します。各専攻・コースにおいて、以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と専門への適性を確かめます。

「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。

「個別学力検査」では、大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や洞察力、表現力を有しているかどうかを評価します。

「小論文」では、提示された資料に対する理解力や思考力、発想力、論理的構成力を総合的に評価しますが、文章表現力についても評価の対象とします。

「実技検査」では、専門的な実技能力や表現力などを評価します。

「志望理由書」では、芸術及び教育の分野で活躍する意欲を評価します。

一般選抜（後期日程）では、「大学入学共通テスト」・「個別学力検査」・「小論文」・「実技検査」・「面接」・「志望理由書」を課します。各専攻・コースにおいて、以下の選抜方法を複数組み合わせることによって、学力（「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等の能力」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」）と専門への適性を確かめます。

「大学入学共通テスト」では、各教科の基礎的な知識を習得したかどうか、高等学校での学習の達成度について評価します。

「個別学力検査」では、大学で学ぶに十分な知識を習得したかどうか、さらに知識に基づく高度な思考力や洞察力、表現力を有しているかどうかを評価します。

「小論文」では、提示された資料に対する理解力や思考力、発想力、論理的構成力を総合的に評価しますが、文章表現力についても評価の対象とします。

「実技検査」では、専門的な実技能力や表現力などを評価します。

「面接」を通じて、論理性や表現力、応用能力をみるとともに、各専門分野への熱意・適性について総合的に評価します。

「志望理由書」では、芸術及び教育の分野で活躍する意欲を評価します。

4. 入学前に学習しておくことが期待される内容

高等学校卒業程度の基礎的な学力や技能を十分に習得したうえで、幅広い教養と大学で学ぶ専門分野の基礎力を身に付け、教育に関心を持って他者と協働できる心構えを涵養していることを期待しています。

				選抜区分	選抜方法	学力の3要素			教職に就く強い意欲
						① 知識・技能	② 思考力・判断力・ 表現力等の能力	③ 主体性を持って多 様な人々と協働 して学ぶ態度	
初等教育教員養成課程	幼児教育専攻		学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○			
				実技検査	◎	◎			
				面接			○	◎	
			一般:前期日程	活動報告書等			◎	○	
				大学入学共通テスト	◎	○			
				面接	◎			◎	
	小学校教育専攻	昼間コース	学校推薦型	活動報告書等			◎	○	
				大学入学共通テスト	◎	○			
				面接	○	◎	◎	◎	
			一般:前期日程	活動報告書等			◎	○	
				大学入学共通テスト	◎	○			
				小論文	○	◎		○	
			一般:後期日程	活動報告書等			◎	○	
				大学入学共通テスト	◎	○			
				面接	○	◎	◎	◎	
		夜間5年コース	学校推薦型	活動報告書等			◎	○	
				大学入学共通テスト	◎	○			
				面接	○	◎	◎	◎	
			一般:前期日程	活動報告書等			◎	○	
				大学入学共通テスト	◎	○			
				小論文	○	◎		○	
			一般:後期日程	活動報告書等			◎	○	
				大学入学共通テスト	◎	○			
				面接	○	◎	◎	◎	
			学校教育教員養成課程	特別支援教育専攻		学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○
面接	○	◎					◎	◎	
一般:前期日程	大学入学共通テスト	◎				○			
	小論文	◎				◎	○	○	
一般:後期日程	大学入学共通テスト	◎				○			
	小論文	◎				◎	○	○	
	面接	○				◎	◎	◎	
小中教育専攻	学校教育コース	学校推薦型		大学入学共通テスト	◎	○			
				面接	○	◎	◎	◎	
				一般:前期日程	大学入学共通テスト	◎	○		
	国語教育コース	学校推薦型		小論文	○	◎	○	○	
				大学入学共通テスト	◎	○			
				面接			◎	◎	
		一般:前期日程		大学入学共通テスト	◎	○			
				個別学力検査		◎			
				面接			◎	◎	
	英語教育コース	学校推薦型		大学入学共通テスト	◎	○			
				面接	○	◎	○	◎	
	一般:前期日程	大学入学共通テスト		◎	○				
		個別学力検査		◎	◎				
		社会科教育コース		学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
	面接				△	○	◎	◎	
	一般:前期日程				◎	○			
	数学教育コース	一般:前期日程		小論文	○	◎	△	△	
				大学入学共通テスト	◎	○			
				個別学力検査	◎	◎	○	○	
	一般:後期日程	大学入学共通テスト		◎	○				
		個別学力検査		◎	◎	○	○		
		理科教育コース		学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
	面接				◎	◎	◎	◎	
	一般:前期日程			大学入学共通テスト	◎	○			
				個別学力検査	◎	◎	○	○	
	一般:後期日程	大学入学共通テスト		◎	○				
		面接		◎	◎	◎	◎		
		個別学力検査		◎	◎				
	家政教育コース	学校推薦型		大学入学共通テスト	◎	○			
				面接	△	◎	○	◎	
				一般:前期日程	◎	○			
	保健体育コース	一般:前期日程		小論文	○	◎			
				大学入学共通テスト	◎	○			
				実技検査	◎				
	一般:後期日程	大学入学共通テスト		◎	○				
		実技検査		◎					
		音楽教育コース		学校推薦型	実技検査	◎			
	大学入学共通テスト				◎	○	○		
	一般:前期日程			実技検査	◎	◎	○		
				大学入学共通テスト	◎	○			
	美術・書道教育コース	一般:前期日程		実技検査	◎	◎			
面接			△	○	○	◎			
大学入学共通テスト			◎	○					
一般:後期日程		実技検査・美術	◎	◎	△	○			
		実技検査・書道	◎	◎					

			選抜区分	選抜方法	学力の3要素			教職に就く強い意欲	
					① 知識・技能	② 思考力・判断力・ 表現力等の能力	③ 主体性を持って多 様な人々と協働 して学ぶ態度		
学校教育教員養成課程	中等教育専攻	国語教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○			
				面接		○	◎	◎	
			一般:前期日程	大学入学共通テスト	◎	○			
				個別学力検査		◎			
		英語教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○			
				面接	○	◎	○	◎	
			一般:前期日程	大学入学共通テスト	◎	○			
				個別学力検査	◎	◎			
		社会科教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○			
				面接	△	○	◎	◎	
			一般:前期日程	大学入学共通テスト	◎	○			
				小論文	○	◎	△	△	
		数学教育コース	一般:前期日程	大学入学共通テスト	◎	○			
				個別学力検査	◎	◎	○	○	
			一般:後期日程	大学入学共通テスト	◎	○			
				個別学力検査	◎	◎	○	○	
		理科教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○			
				面接	◎	◎	◎	◎	
			一般:前期日程	大学入学共通テスト	◎	○			
				個別学力検査	◎	◎	○	○	
		一般:後期日程	大学入学共通テスト	◎	○				
			面接	◎	◎	◎	◎		
			技術教育コース	学校推薦型	小論文	○	◎		
					面接	○	○	○	◎
		一般:前期日程		大学入学共通テスト	◎	○			
				小論文	◎	◎			
		面接	○	○	○	◎			
			調査書及び志望理由書	△	△	○	◎		
			家政教育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
					面接	△	◎	○	◎
		一般:前期日程		大学入学共通テスト	◎	○			
				小論文	○	◎			
		一般:後期日程	大学入学共通テスト	◎	○				
			面接	△	◎	○	◎		
			保健体育コース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○		
					実技検査	◎			○
		面接		○	○				
				一般:前期日程	競技成績に関する証明書	○			
		大学入学共通テスト	◎		○				
		実技検査	◎						
音楽教育コース	学校推薦型		大学入学共通テスト	◎	○				
			実技検査	◎	◎	○			
	一般:前期日程		大学入学共通テスト	◎	○				
		実技検査	◎	◎	○				
美術・書道教育コース	学校推薦型	小論文	◎	○					
		実技検査	◎	◎					
		面接	△	○	○	◎			
		志望理由書		○	○	◎			
	一般:前期日程	大学入学共通テスト	◎	○					
		実技検査	◎	◎					
		面接	△		○	◎			
		養護教諭養成課程			一般:前期日程	大学入学共通テスト	◎	○	
小論文	○					◎	△		
一般:後期日程	大学入学共通テスト				◎				
	面接				○	◎	◎	◎	

		選抜区分	選抜方法	学力の3要素		
				①	②	③
				知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
教育協働学科	教育心理学専攻	一般:前期日程	大学入学共通テスト	◎	○	
			小論文	○	◎	△
		一般:後期日程	大学入学共通テスト	◎	○	
			小論文	○	◎	△
	健康安全科学専攻	一般:前期日程	大学入学共通テスト	◎	○	
			小論文	○	◎	○
		一般:後期日程	大学入学共通テスト	◎	○	
			面接	○	◎	◎
	理数情報専攻	数理情報コース	一般:前期日程	大学入学共通テスト	◎	○
			個別学力検査	◎	◎	
			一般:後期日程	大学入学共通テスト	◎	○
			個別学力検査	◎	◎	
		自然科学コース	一般:前期日程	大学入学共通テスト	◎	○
			個別学力検査	◎	◎	
			一般:後期日程	大学入学共通テスト	◎	○
			面接	◎	◎	○
	グローバル教育専攻	英語コミュニケーションコース	学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○
			面接	◎	◎	◎
		多文化リテラシーコース	一般:前期日程	大学入学共通テスト	◎	○
			個別学力検査	◎	◎	
			学校推薦型	大学入学共通テスト	◎	○
			面接	△	◎	◎
		一般:前期日程	大学入学共通テスト	◎	○	
			小論文	○	◎	○
	芸術表現専攻	音楽表現コース	学校推薦型	小論文	○	◎
			実技検査	◎	◎	
			演奏能力・創作力に関する証明書	◎		○
			志望理由書		○	○
		一般:前期日程	大学入学共通テスト	○		
			実技検査	◎	◎	
			志望理由書		○	○
			大学入学共通テスト	○		
		一般:後期日程	実技検査	◎	◎	
			志望理由書		○	○
		美術表現コース	一般:前期日程	大学入学共通テスト	○	
			実技検査	○	◎	○
			大学入学共通テスト	○		
			実技検査	○	◎	○
	スポーツ科学専攻	学校推薦型	小論文	◎	○	○
			実技検査	◎	○	○
			面接	○	◎	○
			競技成績に関する証明書	○	○	◎
		一般:前期日程	大学入学共通テスト	○		
			実技検査	◎	○	○
		一般:後期日程	大学入学共通テスト	○		
			実技検査	◎	○	○

I 大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜

1 募集人員

キャンパス	課程・学科	専攻	コース	募集人員(注)
柏原	学校教育 教員養成課程	中等教育専攻	技術教育コース	4人
			美術・書道教育コース【美術分野】	3人
	教育協働学科	芸術表現専攻	音楽表現コース	9人
		スポーツ科学専攻		20人
教 育 学 部 合 計				36人

(注) 合格者(入学手続者)が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。

2 出願資格及び要件

課程・専攻・コース	出願資格及び要件												
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 技術教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 次の①②のいずれかの項目に該当する者 ① 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者で、工業に関する学科を履修見込み、若しくは総合学科において工業に関する教科・科目を25単位以上履修見込みの者（ただし、普通教科・科目の履修により専門教科・科目の履修と同様の成果が期待できる場合においては、その普通教科・科目の単位を5単位まで単位数の中に含めることができる。） ② 高等専門学校第3学年を令和4年3月に修了見込みの者 (2) (1)①の者であって、調査書の全体の学習成績の状況が4.2以上の者 (1)②の者であって、必須科目に未履修単位がなく、高等専門学校で修得した単位数を次の式にあてはめた値（小数点第2位を四捨五入）が2.4以上の者 $\{(\text{秀の単位数} \times 4) + (\text{優の単位数} \times 3) + (\text{良の単位数} \times 2) + (\text{可の単位数} \times 1)\} \div (\text{総履修単位数})$ ただし、成績評価は100点満点をもってするものとし、それぞれの評語は次の評点区分とする。 <table><tr><td>評語</td><td>秀</td><td>優</td><td>良</td><td>可</td><td>不可</td></tr><tr><td>評点</td><td>100～90点</td><td>89～80点</td><td>79～70点</td><td>69～60点</td><td>59～0点</td></tr></table> (3) 将来、中学校・高等学校において技術教育に携わる教員を強く志望する者 (4) 技術に関する高い興味と適性を備え、技術教育にかかわる学習意欲が旺盛であると認められる者	評語	秀	優	良	可	不可	評点	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～0点
評語	秀	優	良	可	不可								
評点	100～90点	89～80点	79～70点	69～60点	59～0点								

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

課程・学科・専攻等	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース 【美術分野】	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 次のA、Bのいずれかに該当する者 A 美術（デザイン・工芸を含む。）の専門学科に在籍する者で、調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者 B 上記以外の学科に在籍する者で、調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上であり、かつ芸術（音楽、書道を除く。）の学習成績の状況が4.0以上の者 (3) 美術教育への深い関心と高い実技能力を持ち、将来、中学校・高等学校の美術の教員を強く志望する者
教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 次のA、Bのいずれかに該当する者 A 高等学校の音楽科（それに準ずるコース等）に在籍する者で、実技（作曲・声楽・器楽）が特に優秀と認められる者（ただし、音楽関係科目等を13単位以上履修見込みの者に限る。） B 高等学校在籍中に作曲、声楽（独唱・重唱・合唱）、器楽（独奏・重奏・管弦楽・吹奏楽）の分野で、全国レベル又はそれに準ずるコンクールに入賞・入選した者又は主催者の推薦を受けて出演した者。又は、それに相当する実技能力を有すると学校長が判断する者。ただし、推薦人数は作曲・声楽・ピアノ・管弦打楽器の区分ごとに1校2名以内とする。 [出願資格に関わるコンクールについては、次頁を参照すること。] ただし、器楽についてはA、Bとも次の楽器に限る。 ピアノ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、フルート、オーボエ、クラリネット、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、バス・トロンボーン、テューバ、パーカッション (3) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者 (4) 音楽活動を継続しようとする意志が強固で、かつ、将来、音楽を通して教育協働の分野での活動を希望する者

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

出 願 資 格 に 関 わ る コ ン ク ー ル 名 一 覧

作 曲

コ ン ク ー ル	対 象
朝日作曲賞（合唱曲作曲部門・吹奏楽曲作曲部門）	入 賞 及 び 入 選 者

声 楽

コ ン ク ー ル	対 象
全日本学生音楽コンクール（毎日新聞社主催）の地区大会	入 賞 及 び 入 選 者
全日本合唱コンクール全国大会	出 場 資 格 を 得 た 者
NHK全国学校音楽コンクール全国大会	
瀧廉太郎記念全日本高等学校声楽コンクール	

器 楽（ピアノ）

コ ン ク ー ル	対 象
全日本学生音楽コンクール（毎日新聞社主催）の地区大会	入 賞 及 び 入 選 者

器 楽（弦楽器・管打楽器）

コ ン ク ー ル	対 象
全日本学生音楽コンクール（毎日新聞社主催）の地区大会	入 賞 及 び 入 選 者
全日本吹奏楽コンクール全国大会	出 場 資 格 を 得 た 者
全日本アンサンブルコンテスト全国大会	

- ※1 全国レベル又はそれに準ずるコンクールとは、原則として上記のものです。
- ※2 参加コンクールと同一種目（志望する専門）で受験してください。
- ※3 全日本合唱コンクール全国大会、全日本吹奏楽コンクール全国大会、全日本アンサンブルコンテスト全国大会については、在籍する高等学校から出場した場合に限ります。

学科・専攻	出願資格及び要件
教育協働学科 スポーツ科学専攻	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 ただし、推薦人数は各種目につき１校２名以内とする。 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和４年３月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第９３条第３項の規定に基づき令和３年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和３年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 高等学校在籍中に、次の運動種目のいずれかにおいて、全国大会に出場する競技力を有する者 〔出願資格に関わる大会については、１６～１７頁を参照すること。〕 陸上競技、バスケットボール、サッカー、バレーボール、 体操競技、ダンス、柔道、剣道、水泳競技（競泳） (3) 調査書の全体の学習成績の状況が３.５以上の者 (4) 当該スポーツ活動を継続しようとする意志が強固で、かつ、将来、競技スポーツ選手の指導者を希望する者

出 願 資 格 に 関 わ る 大 会 名 一 覧

種目名	大会名等	備考
陸上競技	全国高等学校総合体育大会（インターハイ）	各ブロック陸上競技選手権大会 決勝進出（リレー種目除く）及び各ブロック高等学校総合体育大会 決勝進出（リレー種目除く）を含む
	国民体育大会	
	全国高等学校陸上競技選抜大会	
	日本陸上競技選手権大会 （リレー競技大会、クロスカントリー競走含む）	
	日本グランプリシリーズ GP種目	
	U20・U18日本陸上競技選手権大会 （日本ジュニア・ユース陸上）	
バスケットボール	全国高等学校総合体育大会（インターハイ）	都道府県予選決勝進出チームの試合出場者を含む
	国民体育大会	
	全国高等学校バスケットボール選手権大会	
サッカー	全国高等学校総合体育大会（インターハイ）	都道府県予選決勝進出チームの試合出場者を含む
	国民体育大会	
	全国高等学校サッカー選手権大会	
	高円宮杯U-18サッカーリーグ・プレミアリーグ	
	高円宮杯U-18サッカープレミアリーグ プレーオフ	
	日本クラブユースサッカー選手権（U-18）大会	
	Jユースカップ	
	全日本高等学校女子サッカー選手権大会	都道府県予選決勝進出チームの試合出場者を含む
	全日本女子U-18サッカー選手権大会	

種目名	大会名等	備考
バレーボール	全国高等学校総合体育大会（インターハイ）	都道府県予選決勝進出チームの試合出場者を含む
	国民体育大会	
	全日本バレーボール高等学校選手権大会	
体操競技	全国高等学校総合体育大会（インターハイ）	都道府県予選大会において、団体2位又は個人4位の成績を有する者を含む
	国民体育大会	
	全国高等学校体操競技選抜大会 （2019年度出場予定者及び2020年度出場者を含む）	
	全日本ジュニア体操競技選手権大会	
ダンス	全日本高校・大学ダンスフェスティバル	左記において、予選を通過し、決選において作品・ショーケース等を発表した者を含む
	全国レベルの洋舞（バレエ・モダン・コンテンポラリー）コンクール	
	全国レベルのストリートダンス（チアダンスは含まない）コンテストや大会	
柔道	全国高等学校総合体育大会（インターハイ）	都道府県予選決勝進出チームの試合出場者又は個人戦決勝進出の成績を有する者を含む
	国民体育大会	
	全国高等学校柔道選手権大会 （2019年度出場予定者及び2020年度出場者を含む）	
	金鷲旗高校柔道大会 ベスト16以上	
	全日本ジュニア柔道体重別選手権大会	
剣道	全国高等学校総合体育大会（インターハイ）	都道府県予選決勝進出チームの試合出場者又は個人戦決勝進出の成績を有する者を含む
	国民体育大会	
	全国高等学校剣道選抜大会 （2019年度出場予定者及び2020年度出場者を含む）	
	玉竜旗高校剣道大会 ベスト16以上	
	全国都道府県対抗剣道優勝大会	
	全国都道府県対抗女子剣道優勝大会	
水泳競技 （競泳） ＜リレー種目は除く＞	全国高等学校総合体育大会（インターハイ）	インターハイ最終予選会（地域ブロック予選会）の決勝進出者を含む 全国JOCジュニアオリンピックカップ水泳競技大会は、夏季・春季ともに通信大会の結果を含む
	国民体育大会	
	全国JOCジュニアオリンピックカップ夏季水泳競技大会	
	全国JOCジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会	

上記のほか、全日本選手権大会（同等の大会を含む。）あるいは日本代表の資格で出場した国際大会等も対象となることがありますので、これらの大会等に参加した者は出願に先立ち、10月15日（金）までに入試課へ問い合わせてください。

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

3 出願期間・出願方法等

(1) 出願期間

令和3年11月1日（月）から令和3年11月6日（土）まで（11月6日必着）

(2) 出願方法

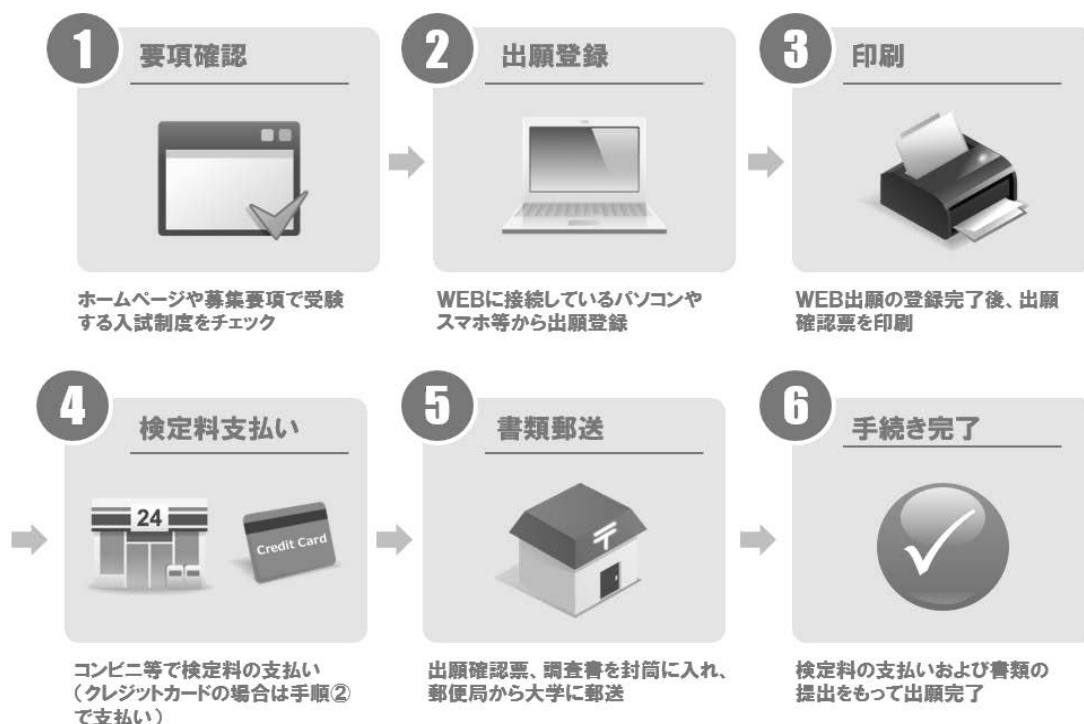
インターネットで必要事項を入力した上で、調査書等の出願書類を郵送する「インターネット出願」を導入しています。出願完了には下記A、B、Cの順番で全ての手続が必要です。なお、各手続には受付期間が定められており、いずれか一つでも出願受付期間中に手続きが完了できない場合は出願を受理できませんので、十分ご注意ください。

A	インターネットによる出願登録	令和3年10月25日（月）9時～令和3年11月6日（土）12時（日本時間）
B	入学検定料等（支払い手数料含む）の支払い	令和3年10月25日（月）9時～令和3年11月6日（土）12時（日本時間）
C	出願に必要な書類等の郵送での提出（持参不可）	令和3年11月1日（月）～令和3年11月6日（土）必着※

※必要書類等の受付は、郵送（書留速達）のみとし、出願受付期間後に到着した場合は受理しないので郵便事情を考慮し、余裕をもって早めに送付してください。

ただし、11月3日（水・祝）までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します。

【出願の流れ】



(2) - A インターネットによる出願登録

本学が出願登録業務を委託した外部ウェブサイトでの手続きになります。詳細は、73頁以降に掲載していますので、必ず確認の上、登録を行ってください。

【インターネット出願登録受付期間】

令和3年10月25日(月)9時00分～令和3年11月6日(土)12時00分(日本時間)

※インターネット環境がない等の理由で、「インターネットによる出願登録」を行えない場合は、大阪教育大学入試課まで相談してください。相談時期によっては、出願が間に合わない場合がありますので、早めの連絡をお願いいたします。(大阪教育大学入試課：072-978-3324)

(2) - B 入学検定料等の支払い

【入学検定料等の支払い受付期間】

令和3年10月25日(月)9時00分～令和3年11月6日(土)12時00分(日本時間)

- 1 入学検定料等 17,344円(入学検定料17,000円と受験票送付用郵便代344円)。
入学検定料等支払い時に、別途インターネット出願システム利用料(459円)がかかります。

- 2 支払方法

クレジットカード、ネットバンキング、コンビニエンスストア、Pay-easy(ペイジー)の利用が可能です。それぞれの詳しい支払方法や手続き・注意事項等は「インターネット出願ページ」で出願情報登録後の「お支払方法選択」でご確認ください。

支払方法	備考
クレジットカード (VISA, MasterCard)	入学検定料等の支払いをインターネット出願と同時に完了することができます。
ネットバンキング (PayPay 銀行, ゆうちょ銀行, 楽天銀行, au じぶん銀行等)	
コンビニエンスストア (ローソン, ミニストップ, ファミリーマート, セブンイレブン, デイリーヤマザキ・ヤマザキデイリーストア, セイコーマート)	各コンビニにより支払方法が異なりますので、詳細はインターネット出願登録ページ内の「コンビニエンスストアでお支払い」をご確認ください。 支払い後、決済データの反映に数時間かかります。
Pay-easy(ペイジー)を利用可能なATM	取扱金融機関のPay-easy ロゴが付いているATMで支払うことができます。

- 3 注意事項

出願後、一旦受理した入学検定料等は65頁6の場合を除き返還できません。

東日本大震災(平成23年3月11日)及び熊本地震(平成28年4月14日)により被災した志願者を対象に入学検定料の免除を行う場合があります。詳細は以下のウェブページを参照してください。

https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/kenteiryoku_menjyo.html

(2) - C 出願に必要な書類等の郵送での提出(持参不可)

インターネット出願において、出願登録及び入学検定料等の支払いを行っただけでは、出願手続き完了にはなりません。郵送受付期間に必要な書類等を書留速達により郵送(必着)する必要があります。郵送受付期間を過ぎたものは受理しないので、郵便事情を十分考慮し、余裕をもって早めに送付してください。

【出願書類の郵送受付期間】

令和3年11月1日(月)～ 令和3年11月6日(土) (必着)

※郵送受付期間後に到着した場合でも、11月3日(水・祝)までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します。(郵便事情を考慮して、早めに送付してください。)

(3) 出願書類等

	書 類 等	提出該当者	摘 要
印刷物 インターネット 出願登録内容の	① 出 願 確 認 票 (書類確認票を含む)	全 員	インターネット出願登録ページの出願登録完了画面からA4用紙に印刷してください。必ず片面印刷にしてください。
	② 写 真 票	全 員	写真は2枚(同一) 必要です。インターネット出願登録完了画面からA4用紙に片面印刷し、写真を所定の位置に貼り付けてください。 (カラー、正面、上半身、脱帽、縦4cm×横3cmで3か月以内に撮影したもの。写真の裏面に氏名及び志望専攻名を記入してください。)
	③ 宛 名 ラ ベ ル	全 員	出願登録完了画面からA4用紙に片面印刷(カラー推奨)の上、必要書類郵送用封筒(市販の角2封筒)の表面に貼り付けてください。
その他必要となる書類(⑤から⑧は本学ウェブページから印刷してください)	④ 調 査 書	全 員	出身学校長が作成し、厳封したもの ただし、13頁の出願資格(1)の②に該当する場合は、成績証明書も必ず提出してください。
	⑤ 推 薦 書	全 員	本学所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したもの
	⑥ 競技成績に関する 証 明 書	スポーツ科学専攻 志 望 者 の み	本学所定の様式により出身学校長が作成したもの ただし、記載した出願資格に該当するすべての競技実績について、下記①、②に示す資料(コピー可)を必ず添付してください。 ①大会名、年度、チーム若しくは個人の順位・表彰内容が明らかとなる資料(表彰状、専門雑誌等) ②トーナメント方式の団体競技においては、出願資格を満たした全国大会において 所属チームのすべての試合 の公式記録あるいは公的記録(各競技の主催者から報道機関に配布された資料のコピーを含む。)これらの記録が入手不可能な場合には、出場を客観的に証明できる専門雑誌等の記載資料
	⑦ 演奏能力・創作力 に関する証明書	音楽表現コース 志 望 者 の み	本学所定の様式により出身学校長が作成したもの 「記載上の注意事項」をよく読み作成してください。 コンクール・演奏会等の実績については、下記①、②に示す資料(コピー可)を必ず添付してください。 ①コンクール名、年度、団体もしくは個人の順位・表彰内容が明らかとなる資料(表彰状、専門雑誌等) ②団体においては、出願資格を満たしたコンクールにおいて個人の出場が客観的に証明できる専門雑誌等の記載資料
	⑧ 志 望 理 由 書	全 員	本学所定の様式に志願者が自筆で400字程度で作成してください。ただし、スポーツ科学専攻は600字程度、美術・書道教育コースは800字程度で作成してください。
	⑨ 英語能力測定試験 に関する証明書	スポーツ科学専攻 志 望 者 の み	実用英語技能検定、TOEFL iBT® などの英語能力測定試験で所定の等級又はスコア取得により、所定の点数加算を希望する場合は、次頁を参照のうえ、該当する試験の成績証明書など(コピー可)を提出してください。提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。 【注】出願受付期間後に提出することはできません。 成績証明書などがコピーの場合は、学校が原本証明したものを必ず提出 してください。
	⑩ 伴 奏 用 楽 譜	音楽表現コース 志 望 者 の み	声楽に必要な伴奏用楽譜は、B4判とし志願者氏名を明記してください。(1ページの大きさはB5判) 24頁を参照してください。

(4) 英語能力測定試験の成績利用

教育協働学科スポーツ科学専攻では、実用英語技能検定、TOEFL iBT®などの英語能力測定試験で本学が指定する等級又はスコアを取得している場合は、個別学力検査等の得点の合計点が満点に達するまで所定の点数を加算することができます。

なお、高等学校入学以降に受検した試験を対象とし、利用できる英語能力測定試験の得点加算は1つのみとします。

合計点への 得点加算	実用英語技能 検定（英検） ＊	TOEFL iBT®	IELTS ＊ ＊	TOEIC®（L&R）	GTEC CBT タイプ /GTEC 検定版 ＊ ＊ ＊
50 点	準 1 級以上	72 以上	5.5 以上	785 以上	1180 以上
30 点	2 級	60 以上	4.5 以上	550 以上	1000 以上
20 点	準 2 級	55 以上	3.5 以上	400 以上	720 以上
10 点	3 級	40 以上	3.0 以上	365 以上	620 以上

＊英検は従来型の英検に加えて、英検 S-CBT、英検 CBT、英検 S-Interview を対象とします。

＊ ＊ 「IELTS」はアカデミック・モジュールとジェネラル・トレーニング・モジュールの両方を対象とします。

＊ ＊ ＊ 「GTEC」CBT タイプ、「GTEC」検定版はオフィシャルスコアに限ります。

英語能力測定試験の提出書類

英語能力測定試験で所定の等級又はスコアを取得しているため、得点加算を希望する場合には、該当する試験の成績証明書など（コピー可）を1通用意して、必要書類郵送用封筒に同封のうえ出願してください。

なお、コピーの場合は、高等学校が原本証明したものを必ず提出してください。出願受付期間後に提出することはできません。

英語能力測定試験	提出書類（成績証明書など）
実用英語技能検定（英検）	実用英語技能検定 合格証明書
TOEFL iBT®	TOEFL iBT® Official Score Reports 又は TOEFL iBT® Test Taker Score Report
IELTS	IELTS Test Report Form（成績証明書）
TOEIC®（L&R）	TOEIC® Listening & Reading Official Score Certificate（公式認定証）
GTEC CBT タイプ/GTEC 検定版	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE

（注1）複数取得している場合には、最も得点加算が高いものを提出してください。

（注2）提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。

(5) 障がい等のある者の事前相談

障がい又は病気その他の理由で、受験上の配慮を希望する者は、令和3年10月22日（金）までに入試課へ相談してください。詳細は、以下のウェブページを参照してください。

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/jizensoudan.html>

<問い合わせ先>入試課（受付時間：平日9：00～17：00）

【TEL：072-978-3324】

また、本学は障がい学生修学支援ルームを設置しています。本ルームは入学後に修学上の配慮を希望する者の事前相談にも応じています。

<問い合わせ先>障がい学生修学支援ルーム（受付時間：平日9：00～17：00）

【TEL：072-978-3479 電子メール：sienroom@bur.osaka-kyoiku.ac.jp】

(6) 出願に当たっての留意事項

国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す（特別枠を含む）場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、一つの大学・学部に限ります。

なお、不合格となった場合に備え、本学又は他の国公立大学の「前期・後期」等へ出願することができます。

注1 出願書類受理後は、出願事項の変更は認めません。また、出願事項が事実と相違していることが判明した場合は、合格又は入学許可を取り消すことがあります。

注2 受理した出願関係書類は、いかなる理由があっても一切返還できません。

4 入学者選抜方法等

(1) 実施日

令和3年11月20日（土）

ただし、学校教育教員養成課程中等教育専攻美術・書道教育コース【美術分野】は11月20日（土）及び11月21日（日）の2日間実施します。また、教育協働学科芸術表現専攻音楽表現コース及び教育協働学科スポーツ科学専攻は、志願者数によっては11月21日（日）にも実施する場合があります。

(2) 検査科目・時間等

課程・学科・専攻・コース	検査時間			
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 技術教育コース	小論文 面接		10:00～11:30 13:00～	
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース	実技 小論文 面接	(11/20) (11/21) (11/21)	10:00～13:00 10:00～11:00 11:30～	
教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース	小論文 実技 実技	(11/20) (11/20) (11/21)	10:00～11:00 11:30～ 10:00～（*）	
教育協働学科 スポーツ科学専攻	小論文 実技・面接 面接	(11/20) (11/20) (11/21)	10:00～11:00 11:30～17:00 10:00～17:00（*）	

※ 志願者数によっては、検査科目の日時を変更することがあります。
その場合は、受験票返送時に「受験者注意事項」により通知します。

(3) 入学者選抜方法

課程・学科・専攻・コース	選抜方法
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 技術教育コース	大学入学共通テストを免除し、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書）、小論文及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース	大学入学共通テストを免除し、出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書）、小論文、実技検査及び面接を総合して行う。
教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース	大学入学共通テストを免除し、出願書類（学校長が作成した調査書、推薦書及び演奏能力・創作力に関する証明書、志望理由書）、小論文及び実技検査を総合して行う。（演奏能力・創作力に関する証明書には、演奏能力・創作力に関する所見又はコンクール等における受賞歴・演奏歴を記載。）
教育協働学科 スポーツ科学専攻	大学入学共通テストを免除し、出願書類（学校長が作成した調査書、推薦書、競技成績に関する証明書、志望理由書及び英語能力測定試験の得点加算を利用する場合はその成績の証明書）、小論文、実技検査及び面接を総合して行う。

※総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とすることがあります。

- (4) 令和4年度大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜の実施科目等について
 共通テストを課さない学校推薦型選抜で、本学が実施する個別学力検査等は次のとおりです。
 なお、個別学力検査等を1科目でも受験しなかった場合は、選抜の対象としません。

課程・学科・専攻・コース	検査科目	個別学力検査等の配点等						
		小論文	実技	面接	証明書	志望理由書	合計	加点
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 技術教育コース	小論文 面接	250		250			500	
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース	小論文 実技 面接	100	200	100		100	500	
教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース	小論文 実技	100	250		100 ※1	50	500	
教育協働学科 スポーツ科学専攻	小論文 実技 面接	100	200	100	100 ※2		500	50 ※3

※1は演奏能力・創作力に関する証明書

※2は競技成績に関する証明書

※3は英語能力測定試験に関する証明書

- (5) 小論文の内容及び採点・評価基準

課程・学科・専攻・コース	内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 技術教育コース	技術や技術教育に関する理解と関心度をみるために、小論文形式で筆答させる。	課題に対する理解力や洞察力、論述における論理の構成的力や表現力などを総合的に評価する。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース	文章表現をととして、思考力・表現力・美術教育に関する理解と関心度をみるために、小論文形式で筆答させる。	出題された課題に対する理解度や関心度をみるとともに、論理の構成的力や文章表現能力等も含め総合的に評価する。
教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース	音楽と社会との関わりについての理解と認識をみるために、小論文形式で筆答させる。	出題された問題への関心度・理解度をみるとともに、論旨の明確さ、文章表現能力等も含め総合的に評価する。
教育協働学科 スポーツ科学専攻	スポーツに関する理解と関心度をみるために、小論文形式で筆答させる。	出題した問題に対する理解度や関心度をみるとともに、論理の構成的力や文章表現能力等も含め総合的に採点・評価する。

(6) - 1 実技検査の実施内容及び留意事項

学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース

鉛筆による静物デッサン

(注) 鉛筆, 消しゴム (ねり消しゴムを含む) は各自持参すること。羽根ボウキは使用可。
それ以外の道具は使用不可とする。

(カルトン, 画用紙, クリップは本学で準備する。)

* 新型コロナウイルス感染症対策のため, 実技検査内容が変更になる可能性があります。

教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース

志望専門別に受験すること。

作曲

ア 与えられたバス及びソプラノに和声を付け四声体にする。(制作時間 2 時間)

イ 与えられたテーマ又はモチーフに基づいて, ピアノ曲を作る。(制作時間 2 時間)

(注) ア, イともに試験中の楽器の使用は認めない。

声楽

自由曲 2 曲

(注) 1 歌詞は原語とし, 暗譜で歌うこと。

2 オペラ及びオラトリオ等のアリアは原調で歌うこと。

3 曲の途中で演奏を中止させる場合がある。

4 伴奏用楽譜 (歌唱旋律及び歌詞が記入されたもの) を提出すること。ただし, 1 ページの大きさは B 5 判 (縦 257 mm×横 182 mm) とし, 志願者氏名を明記の上, 出願確認票と共に提出すること。提出後の作品及び調性等の変更は認めない。

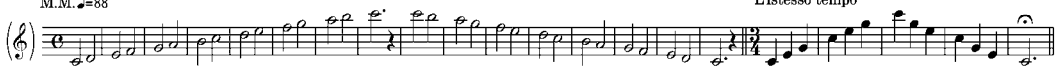
5 伴奏者は本学で配置する。

器楽

自由曲については, 楽器名・作曲者名・曲名をインターネット出願で登録して申請すること。

楽 器	実 施 内 容 及 び 留 意 事 項
ピ ア ノ	ア, イの順に暗譜で演奏し, 繰り返しは省略すること。 <u>使用する楽譜の版は指定しない。</u> ア 次の 3 曲より任意の 1 曲 L. v. Beethoven : Sonate 第2番 A-dur Op. 2-2 第 1 楽章 第11番 B-dur Op. 22 第 1 楽章 第26番 Es-dur Op. 81a 第 1 楽章 イ 自由曲 下記の作曲者の作品より任意の 1 曲 (ソナタの場合は 1 つの楽章) 1) R. Schumann 2) F. Liszt 3) F. Chopin 4) J. Brahms 5) F. Mendelssohn
ヴァイオリン	下記のア, イを暗譜で演奏する。ただし, 無伴奏とする。 ア Carl Flesch : Scale Systemより C-dur No. 5 の冒頭の 12 小節 (テンポは ♩ = 100~120) No. 6, 7, 8 の冒頭の 4 小節 (テンポは ♩ = 40~50) イ 自由曲 1 曲
ヴィオラ	下記のア, イを暗譜で演奏する。ただし, 無伴奏とする。 ア Carl Flesch : Scale Systemより C-dur No. 5 の冒頭の 12 小節 (テンポは ♩ = 100~120) (注) ヴィオラ用に編曲された楽譜を使用すること。 イ 自由曲 1 曲

* 新型コロナウイルス感染症対策のため, 実技検査内容が変更になる可能性があります。

楽 器	実 施 内 容 及 び 留 意 事 項
チ ェ ロ	下記のア、イを暗譜で演奏する。ただし、無伴奏とする。 ア J.Loeb : Gammes et arpèges pour violoncelle (Billaudot版) により、 3 オクターブの音階と分散和音 (C, D, Es, E-dur の中から当日指定) 音階は、テンポ ♩ =60以上 スラーは  の形で演奏する。 分散和音は、テンポ、フィンガリングともに自由 スラーは  の形で演奏する。 イ 自由曲 1 曲
コントラバス	下記のア、イを暗譜で演奏する。ただし、無伴奏とする。 ア シャープ又はフラットが3個までの調号を持つ長調又は短調のうちから、 2 オクターブの音階 (調は当日指定。短調は和声的短音階と旋律的短音階の 両方を演奏する。テンポ、フィンガリング、スラーは自由) イ 自由曲 1 曲 (注) 楽器貸出し可能
フ ル ー ト オ ー ボ エ クラリネット ファゴット	下記のア、イを演奏する。ただし、無伴奏とし、楽譜は見てもよい。 ア 長調の音階、半音階及び主和音の分散和音 (調及びアーティキュレーション は当日指定) イ 自由曲 1 曲
ホ ル ン トランペット トロンボーン バス・トロンボーン テ ュ ー バ	下記のア、イを演奏する。ただし、無伴奏とし、楽譜は見てもよい。 ア 次の譜例により、長調の音階 2 オクターブ及び分散和音 (調は当日指定) M.M. ♩ =88 L'istesso tempo  イ 自由曲 1 曲
パーカッション	下記のア、イを演奏する。ただし、無伴奏とし、楽譜は見てもよい。 ア 小太鼓の基本奏法 1 つ打ち、2 つ打ち、5 つ打ち (緩→急→緩 等、当日指定)、ロール (< , > , < > 等、当日指定) イ 小太鼓、マリンバのいずれかを用了自由曲 1 曲 (注) マリンバ (5オクターブ半)、小太鼓、スタンド、パチ置きは貸出し可能

* 新型コロナウイルス感染症対策のため、実技検査内容が変更になる可能性があります。

学科・専攻	実 施 内 容 及 び 留 意 事 項
教育協働学科 スポーツ科学専攻	下記 1)～9)の競技種目の中から選択した1種目について、運動技能に関する実技検査を行う。 なお、実技検査で使用するウェア、シューズ、防具類等の個人用具は、すべて各自が持参すること。 1) 陸上競技 出願した当該種目について、試合に準じた形式で試技を行う。 2) バスケットボール 1. 各種シュート（ランニングシュート、ジャンプシュート） 2. 2対1又は3対2 3. 速攻 4. ゲーム 3) サッカー フィールドプレーヤー又はゴールキーパーを選択して検査を行う。 <フィールドプレーヤー> 1. ボールコントロール 2. 各種シュート（ドリブルシュート、センタリングシュート） 3. ゲーム <ゴールキーパー> 1. ゴールキーピング（キャッチング、ポジショニング、セービング、キックの各技能をフィールドプレーヤーの2.3.のテストでゴールマウスに入って行う。） 4) バレーボール 1. 対人パス（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス） 2. 対人レシーブ 3. スパイク又はトス又はサーブレシーブ（選択） 4. ゲーム 5) 体操競技 男子：ゆか、あん馬、鉄棒の各種目で、指定された基本的な技の実施。 女子：ゆか、平均台、段違い平行棒の各種目で、指定された基本的な技の実施。 6) ダンス 1. 短いフレーズの創作（現代的なリズム）：現代的なリズムにふさわしい動きを組み込んだ短いフレーズの創作 2. 課題による創作：課題（伴奏付き）を与え、課題からイメージしたものをダンス作品として創作。 7) 柔 道 1. 受身 2. 立技 3. 寝技 4. 乱取 8) 剣 道 1. 切り返し 2. 応じ技 3. 互角稽古・試合稽古 9) 水泳競技（競泳） 出願した当該種目について、試合形式で記録測定を行う。

* 新型コロナウイルス感染症対策のため、実技検査内容が変更になる可能性があります。

(6) - 2 実技検査の採点・評価基準

課程・学科・ 専攻・コース	実 施 内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース	鉛筆による静物デッサン	対象把握する力，構合力，表現力などを総合的に評価する。
教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース	作曲，声楽，器楽から一つを選択	創作能力・演奏技術及び音楽性について審査し，総合的に評価する。
教育協働学科 スポーツ科学専攻	選択した1種目についての， 運動技能に関する検査	種目固有の運動技能を体力・技術・ 戦術等の視点から総合的に採点・評価する。

(7) 面接（口述試験を含む）の内容及び採点・評価基準

課程・学科・ 専攻・コース	内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 技術教育コース	将来，技術分野の教員となるのにふさわしい資質と，技術や技術教育に関する知識・関心・理解をみる。くわえて，数学・理科（数学Ⅰ，数学Ⅱ，物理基礎の範囲）に関する小問をその場で課し，口頭で回答を求める。	技術分野の教員への意欲，技術や技術教育に関する知識・理解・関心・意欲・適性及び面接時における話の要点や論理性などを総合的に評価する。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース	将来，美術の教員となるのにふさわしい資質と美術教育に関する知識・関心・理解度をみる。	美術の教員への意欲，美術教育に関する知識・関心・理解・適性，面接時の対応や話の論理性などを総合的に評価する。
教育協働学科 スポーツ科学専攻	スポーツに関する理解と関心度と，それに対する表現力をみる。	スポーツへの興味・関心・知識・意欲・表現等を総合的に採点・評価する。

(8) 志望理由書の内容及び採点・評価基準

課程・学科・ 専攻・コース	内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コース	教職への意欲，美術や美術教育に関する関心・意欲・適性をみる。志望理由書については，800字程度で記載すること。	美術分野の教員への意欲，美術や美術教育に関する関心・意欲・適性などを総合的に評価する。
教育協働学科 芸術表現専攻 音楽表現コース	音楽や専門実技に対しどのように向き合ってきたか，また，学校現場や社会における連携・協働に関する展望について検査する。	音楽への関心，専門技能向上への意欲，また，学校現場や社会における連携・協働についての適性を総合的に判断する。

5 入学前教育について【美術・書道教育コースのみ】

学校教育教員養成課程 中等教育専攻 美術・書道教育コースの合格者には，入学前の学習支援として，本学が実施する個別の入学準備課題等に取り組んでいただきます。

詳細については，合格者発表後にお知らせします。

Ⅱ 大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜

1 募集人員

キャンパス	課程・学科	専攻	コース	募集人員（注1）
天王寺 （注2）	初等教育 教員養成課程	幼児教育専攻		3人
		小学校教育専攻	昼間コース	10人
			夜間5年コース	5人
柏原	学校教育 教員養成課程	特別支援教育専攻		7人
		小中教育専攻	学校教育コース	8人
			国語教育コース	7人
			英語教育コース	4人
			社会科教育コース	7人
			理科教育コース	5人
			家政教育コース	2人
			音楽教育コース	3人
		中等教育専攻	国語教育コース	3人
			英語教育コース	4人
			社会科教育コース	4人
			理科教育コース	3人
			家政教育コース	3人
			保健体育コース	5人
			音楽教育コース	3人
	教育協働学科	グローバル 教育専攻	英語コミュニケーションコース	10人
			多文化リテラシーコース	15人
教 育 学 部 合 計				111人

（注1）合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。

（注2）初等教育教員養成課程の幼児教育専攻及び小学校教育専攻昼間コースは、1～2年次を柏原キャンパスで修学します。

2 出願資格及び要件

次のいずれかに該当する者で、令和4年度大学入学共通テストにおいて、本学が各募集区分で指定した教科・科目（44～47頁の「令和4年度大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜の実施教科・科目等について」を参照）を受験する者。

なお、大学入学共通テストの外国語で英語を受験する場合は、必ずリスニングテストを受験すること。（リスニングテスト免除者は除く。配点については、48～49頁を参照）

課程・専攻	出願資格及び要件
初等教育教員養成課程 幼児教育専攻	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 (3) 将来、幼稚園での学校教育に携わる教員を強く志望する者

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

課程・専攻・コース	出願資格及び要件
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 昼間コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 (3) 将来、小学校での学校教育に携わる教員を強く志望する者
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 夜間5年コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 (3) 将来、小学校での学校教育に携わる教員を強く志望する者
学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 (3) 特別支援教育に深い関心を持ち、将来、特別支援学校や小学校において、特別支援教育に携わる教員を強く志望する者
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 学校教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 (3) 教育学、心理学、道徳教育学に深い関心を持ち、将来、学校教育の教員を強く志望する者

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

課程・専攻・コース	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 国語教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者で、国語の学習成績の状況が4.3以上の者 (3) 国語科分野に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校の国語科分野の教員を強く志望する者
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 英語教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者で、英語に関する科目の学習成績の状況が4.2以上の者 (3) 英語教育に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校の英語の教員を強く志望する者
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 社会科教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 (3) 社会科分野に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校の社会科分野の教員を強く志望する者
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 理科教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 (3) 理科に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校の理科分野の教員を強く志望する者

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

課程・専攻・コース	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 家政教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 (3) 家庭科に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校の家庭科の教員を強く志望する者
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 音楽教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.6以上の者で、音楽の学習成績の状況が4.0以上の者 (3) 音楽教育に深い関心を持ち、将来、小学校教員や中学校の音楽の教員を強く志望する者
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 国語教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者で、国語の学習成績の状況が4.3以上の者 (3) 国語科分野に深い関心を持ち、将来、中学校・高等学校の国語科分野の教員を強く志望する者
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 英語教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者で、英語に関する科目の学習成績の状況が4.2以上の者 (3) 英語教育に深い関心を持ち、将来、中学校・高等学校の英語の教員を強く志望する者

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

課程・専攻・コース	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 社会科教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 (3) 社会科分野に深い関心を持ち、将来、中学校・高等学校の社会科分野の教員を強く志望する者
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 理科教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者 (3) 理科に深い関心を持ち、将来、中学校・高等学校の理科分野の教員を強く志望する者
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 家政教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 (3) 家庭科に深い関心を持ち、将来、中学校・高等学校の家庭科の教員を強く志望する者

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

課程・学科・専攻等	出願資格及び要件
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 保健体育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.5以上の者 (3) 保健体育科教育への深い関心と高い体育実技能力を持ち、将来、中学校・高等学校の保健体育の教員を強く志望する者 (4) 高等学校在籍中に、次の運動種目のいずれかにおいて、団体種目で都道府県大会決勝進出以上の成績を収めた者又は個人種目で各ブロック高体連主催の大会でベスト16以上の成績を収めた者 陸上競技、バスケットボール、サッカー、ラグビーフットボール、バレーボール、ハンドボール、卓球、硬式テニス、ソフトテニス、硬式野球、バドミントン、体操競技、ダンス、柔道、剣道、水泳競技（競泳） 各ブロック高体連主催大会名（個人種目のみ対象） 全道高校体育大会、東北高等学校選手権大会、関東高等学校体育大会、北信越高等学校体育大会、東海高等学校総合体育大会、近畿高等学校（種目名）大会、中国高等学校選手権大会、四国高等学校選手権大会、全九州高等学校体育大会
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 音楽教育コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.6以上の者で、音楽の学習成績の状況が4.0以上の者 (3) 音楽教育に深い関心を持ち、将来、中学校・高等学校の音楽の教員を強く志望する者

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

課程・学科・専攻等	出願資格及び要件
教育協働学科 グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が3.8以上の者で、英語に関する科目の学習成績の状況が4.2以上の者 (3) 将来、高度な英語のスキルと広い視野を身につけ、グローバル化する社会において、地域や学校での教育・学習を支援することを望む者、又は英語を活かした職業について世界にはばたくことを望む者
教育協働学科 グローバル教育専攻 多文化リテラシーコース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 調査書の全体の学習成績の状況が4.0以上の者 (3) 日本・アジアやヨーロッパの文化に深い関心を持ち、将来、国際社会やグローバル化する地域社会、学校などで種々の教育活動に取り組むことを望む者

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

3 出願期間・出願方法等

(1) 出願期間

令和3年11月1日（月）から令和3年11月6日（土）まで（11月6日必着）

(2) 出願方法

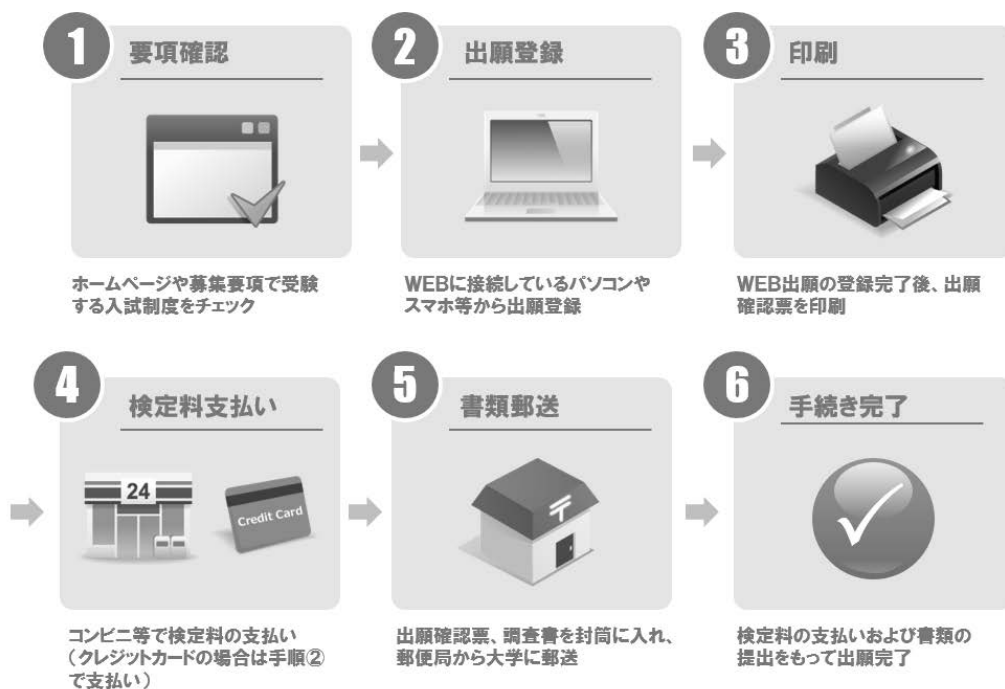
インターネットで必要事項を入力した上で、調査書等の出願書類を郵送する「インターネット出願」を導入しています。出願完了には下記A, B, Cの順番で全ての手続が必要です。なお、各手続には受付期間が定められており、いずれか一つでも出願受付期間中に手続きが完了できない場合は出願を受理できませんので、十分ご注意ください。

A	インターネットによる出願登録	令和3年10月25日（月）9時～令和3年11月6日（土）12時（日本時間）
B	入学検定料等（支払い手数料含む）の支払い	令和3年10月25日（月）9時～令和3年11月6日（土）12時（日本時間）
C	出願に必要な書類等の郵送での提出（持参不可）	令和3年11月1日（月）～令和3年11月6日（土）必着※

※必要書類等の受付は、郵送（書留速達）のみとし、出願受付期間後に到着した場合は受理しないので郵便事情を考慮し、余裕をもって早めに送付してください。

ただし、11月3日（水・祝）までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します。

【出願の流れ】



(2) - A インターネットによる出願登録

本学が出願登録業務を委託した外部ウェブサイトでの手続きになります。**詳細は、73頁以降に掲載していますので、必ず確認の上、登録を行ってください。**

【インターネット出願登録受付期間】

令和3年10月25日(月)9時00分～令和3年11月6日(土)12時00分(日本時間)

※インターネット環境がない等の理由で、「インターネットによる出願登録」を行えない場合は、大阪教育大学入試課まで相談してください。相談時期によっては、出願が間に合わない場合がありますので、早めの連絡をお願いいたします。(大阪教育大学入試課：072-978-3324)

(2) - B 入学検定料等の支払い

【入学検定料等の支払い受付期間】

令和3年10月25日(月)9時00分～令和3年11月6日(土)12時00分(日本時間)

- 1 入学検定料等 17,344円(入学検定料17,000円と受験票送付用郵便代344円)。
ただし、夜間5年コースは10,344円(入学検定料10,000円と受験票送付用郵便代344円)
入学検定料等支払い時に、別途インターネット出願システム利用料(459円)がかかります。

2 支払方法

クレジットカード、ネットバンキング、コンビニエンスストア、Pay-easy(ペイジー)の利用が可能です。それぞれの詳しい支払方法や手続き・注意事項等は「インターネット出願ページ」で出願情報登録後の「お支払方法選択」でご確認ください。

支払方法	備考
クレジットカード (VISA, MasterCard)	入学検定料等の支払いをインターネット出願と同時に完了することができます。
ネットバンキング (PayPay 銀行, ゆうちょ銀行, 楽天銀行, au じぶん銀行等)	
コンビニエンスストア (ローソン, ミニストップ, ファミリーマート, セブンイレブン, デイリーヤマザキ・ヤマザキデイリーストア, セイコーマート)	各コンビニにより支払方法が異なりますので、詳細はインターネット出願登録ページ内の「コンビニエンスストアでお支払い」をご確認ください。 支払い後、決済データの反映に数時間かかります。
Pay-easy(ペイジー)を利用可能なATM	取扱金融機関のPay-easy ロゴが付いているATMで支払うことができます。

3 注意事項

出願後、一旦受理した入学検定料等は65頁6の場合を除き返還できません。

東日本大震災(平成23年3月11日)及び熊本地震(平成28年4月14日)により被災した志願者を対象に入学検定料の免除を行う場合があります。詳細は以下のウェブページを参照してください。

https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/kenteiryou_menjyo.html

(2) - C 出願に必要な書類等の郵送での提出(持参不可)

インターネット出願において、出願登録及び入学検定料等の支払いを行っただけでは、出願手続き完了にはなりません。郵送受付期間に必要な書類等を書留速達により郵送(必着)する必要があります。**郵送受付期間を過ぎたものは受理しないので、郵便事情を十分考慮し、余裕をもって早めに送付してください。**

【出願書類の郵送受付期間】

令和3年11月1日(月)～ 令和3年11月6日(土) (必着)

※郵送受付期間後に到着した場合でも、11月3日(水・祝)までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します。(郵便事情を考慮して、早めに送付してください。)

(3) 出願書類等

1. 出願期間内に提出する書類等

	書 類 等	提出該当者	摘 要
インターネット印刷物の印刷物	① 出 願 確 認 票 (書類確認票を含む)	全 員	インターネット出願登録ページの出願登録完了画面からA4用紙に印刷してください。必ず片面印刷にしてください。
	② 写 真 票	全 員	写真は2枚(同一) 必要です。インターネット出願登録完了画面からA4用紙に片面印刷し、写真を所定の位置に貼り付けてください。 (カラー、正面、上半身、脱帽、縦4cm×横3cmで3か月以内に撮影したもの。写真の裏面に氏名及び志望専攻名を記入してください。)
	③ 宛 名 ラ ベ ル	全 員	出願登録完了画面からA4用紙に片面印刷(カラー推奨)の上、必要書類郵送用封筒(市販の角2封筒)の表面に貼り付けてください。
その他必要となる書類(⑤から⑧は本学ウェブページから印刷してください)	④ 調 査 書	全 員	出身学校長が作成し、厳封したもの
	⑤ 推 薦 書	全 員	本学所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したもの
	⑥ 競技成績に関する証明書	保健体育コース 志望者のみ	本学所定の様式により出身学校長が作成したもの ただし、記載した出願資格に該当するすべての競技実績について、下記①、②に示す資料(コピー可)を必ず添付してください。 ①大会名、年度、チーム若しくは個人の順位・表彰内容が明らかとなる資料(表彰状、専門雑誌等) ②トーナメント方式の団体競技においては、出願資格を満たした全国大会において 所属チームのすべての試合 の公式記録あるいは公的記録(各競技の主催者から報道機関に配布された資料のコピーを含む。)これらの記録が入手不可能な場合には、出場を客観的に証明できる専門雑誌等の記載資料
	⑦ 志 望 理 由 書	小中教育専攻 学校教育コース 以外の志望者	本学所定の様式に志願者が自筆で作成してください。 字数については、次頁の「【参考】志望理由書の字数について」を参考に定められた字数で作成してください。
	⑧ 活 動 報 告 書	幼児教育専攻及び 小学校教育専攻 (昼間・夜間5年コース) 志望者のみ	本学所定の様式2種類(活動報告書(A)及び(B))それぞれ、A4用紙に片面印刷のうえ、志願者が自筆で作成してください。
	⑨ 英語能力測定試験に関する証明書	英語教育コース・ 英語コミュニケーション コース志望者のみ	実用英語技能検定、TOEFL iBT®などの英語能力測定試験で所定の等級又はスコア取得により、所定の点数加算を希望する場合は、39～40頁を参照のうえ、該当する試験の成績証明書など(コピー可)を提出してください。提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。 【注】出願受付期間後に提出することはできません。 成績証明書などがコピーの場合は、学校が原本証明したものを必ず提出 してください。
	⑩ 伴 奏 用 楽 譜	幼児教育専攻及び 音楽教育コース 志望者のみ	音楽実技実施に必要な伴奏用楽譜は、B4版とし志願者氏名を明記してください。(1ページの大きさはB5版としてください。)

2. 到着次第、送付する書類 ※試験実施後の提出となりますので、注意してください。

書 類 等	提出該当者	摘 要
共通テスト成績請求票送付用紙	全 員	共通テスト成績請求票は、出願時点では大学入試センターから志願者へ送付されていませんので、到着次第、本学ウェブページから所定の送付用紙をA4サイズで印刷し「令和4共通テスト成績請求票」(国公立推薦型選抜用)を貼付して、令和3年12月20日(月)必着で郵送してください。

【参考】志望理由書の字数について

専攻・コース等	指定字数
初等教育教員養成課程 幼児教育専攻	600字程度
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 昼間コース	800字程度
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 夜間5年コース	800字程度
学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	800字程度
学校教育教員養成課程 小中教育専攻・中等教育専攻 国語教育コース	1,200字程度
学校教育教員養成課程 小中教育専攻・中等教育専攻 英語教育コース	400字程度
学校教育教員養成課程 小中教育専攻・中等教育専攻 社会科教育コース	400字程度
学校教育教員養成課程 小中教育専攻・中等教育専攻 理科教育コース	400字程度
学校教育教員養成課程 小中教育専攻・中等教育専攻 家政教育コース	400字程度
学校教育教員養成課程 小中教育専攻・中等教育専攻 音楽教育コース	800字程度
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 保健体育コース	600字程度
教育協働学科 グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース	400字程度
教育協働学科 グローバル教育専攻 多文化リテラシーコース	400字程度

(4) 英語能力測定試験の成績利用

1. 学校教育教員養成課程 小中教育専攻・中等教育専攻 英語教育コース

小中教育専攻 英語教育コースと中等教育専攻 英語教育コースでは、実用英語技能検定、TOEFL iBT®などの英語能力測定試験で本学が指定する等級又はスコアを取得している場合は、大学入学共通テストの得点の合計点が満点に達するまで所定の点数を加算することができます。

なお、高等学校入学以降に受検した試験を対象とし、利用できる英語能力測定試験の得点加算は1つのみとします。

共通テストへの得点加算	実用英語技能検定（英検） ＊	TOEFL iBT®	IELTS ＊＊	TOEIC®（L&R）	GTEC CBT タイプ/ GTEC 検定版 ＊＊＊
30点	準1級以上	80以上	6.0以上	730以上	1190以上
15点	2級	65以上	5.0以上	600以上	1070以上

＊英検は従来型の英検に加えて、英検 S-CBT、英検 CBT、英検 S-Interview を対象とします。

＊「IELTS」はアカデミック・モジュールとジェネラル・トレーニング・モジュールの両方を対象とします。

＊＊「GTEC」CBT タイプ、「GTEC」検定版はオフィシャルスコアに限りです。

英語能力測定試験の提出書類（小中教育専攻・中等教育専攻 英語教育コース）

英語能力測定試験で所定の等級又はスコアを取得しているため、大学入学共通テストの得点の合計点に加算することを希望する場合には、該当する試験の成績証明書など（コピー可）を1通用意して、必要書類郵送用封筒に同封のうえ出願してください。

なお、コピーの場合は、高等学校が原本証明したものを必ず提出してください。出願受付期間後に提出することはできません。

英語能力測定試験	提出書類（成績証明書など）
実用英語技能検定（英検）	実用英語技能検定 合格証明書
TOEFL iBT®	TOEFL iBT® Official Score Reports 又は TOEFL iBT® Test Taker Score Report
IELTS	IELTS Test Report Form（成績証明書）
TOEIC®（L&R）	TOEIC® Listening & Reading Official Score Certificate（公式認定証）
GTEC CBT タイプ/GTEC 検定版	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE

（注1）複数取得している場合には、最も得点加算が高いものを提出してください。

（注2）提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。

2. 教育協働学科 グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース

グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコースでは、実用英語技能検定、TOEFL iBT®などの英語能力測定試験で本学が指定する次の等級又はスコアを取得している場合は、大学入学共通テストと個別学力検査等の得点の合計点が満点に達するまで所定の点数を加算することができます。

なお、高等学校入学以降に受検したものを対象とし、利用できる英語能力測定試験の得点加算は1つのみとします。

合計点への 得点加算	実用英語技能 検定（英検） ＊	TOEFL iBT®	IELTS ＊ ＊	GTEC CBT タイプ/ GTEC 検定版 ＊ ＊ ＊
100 点	準 1 級以上	72 以上	6.0 以上	1200 以上
40 点		65 以上	5.5 以上	1110 以上
20 点		60 以上	4.5 以上	1010 以上

＊英検は従来型の英検に加えて、英検 S-CBT、英検 CBT、英検 S-Interview を対象とします。

＊ ＊ 「IELTS」はアカデミック・モジュールのみを対象とします。

＊ ＊ ＊ 「GTEC」CBT タイプ、「GTEC」検定版はオフィシャルスコアに限ります。

英語能力測定試験の提出書類（グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース）

英語能力測定試験で所定の等級又はスコアを取得しているため、大学入学共通テストと個別学力検査等の得点の合計点に加算を希望する場合には、該当する試験の成績証明書など（コピー可）を1通用意して、必要書類郵送用封筒に同封のうえ出願してください。

なお、コピーの場合は、高等学校が原本証明したものを必ず提出してください。出願受付期間後に提出することはできません。

英語能力測定試験	提出書類（成績証明書など）
実用英語技能検定（英検）	実用英語技能検定 合格証明書
TOEFL iBT®	TOEFL iBT® Official Score Reports 又は TOEFL iBT® Test Taker Score Report
IELTS	IELTS Test Report Form（成績証明書）
GTEC CBT タイプ/GTEC 検定版	OFFICIAL SCORE CERTIFICATE

（注1）複数取得している場合には、最も得点加算が高いものを提出してください。

（注2）提出していただいた成績証明書などは一切返却しません。

（5）障がい等のある者の事前相談

障がい又は病気その他の理由で、受験上の配慮を希望する者は、令和3年10月22日（金）までに入試課へ相談してください。詳細は、以下のウェブページを参照してください。

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/jizensoudan.html>

<問い合わせ先>入試課（受付時間：平日9：00～17：00）

【TEL：072-978-3324】

また、本学は障がい学生修学支援ルームを設置しています。本ルームは入学後に修学上の配慮を希望する者の事前相談にも応じています。

<問い合わせ先>障がい学生修学支援ルーム（受付時間：平日9：00～17：00）

【TEL：072-978-3479 電子メール：sienroom@bur.osaka-kyoiku.ac.jp】

（6）出願に当たっての留意事項

国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す（特別枠を含む）場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、一つの大学・学部に限ります。

なお、不合格となった場合に備え、本学又は他の国公立大学の「前期・後期」等へ出願することができます。

注1 出願書類受理後は、出願事項の変更は認めません。また、出願事項が事実と相違していることが判明した場合は、合格又は入学許可を取り消すことがあります。

注2 受理した出願関係書類は、いかなる理由があっても一切返還できません。

注3 本学が各募集区分で指定した令和4年度大学入学共通テストの教科・科目を受験することを確認してください。（44～47頁、70～72頁参照）

4 入学者選抜方法等

(1) 実施日 令和3年11月20日(土)

ただし、教育協働学科グローバル教育専攻多文化リテラシーコースは、
志願者数によっては、11月21日(日)にも実施する場合があります。

(2) 検査科目・時間等

課程・専攻・コース	検査時間	
初等教育教員養成課程 幼児教育専攻	実技・面接	10:00～
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 昼間コース	面接	10:00～
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 夜間5年コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 学校教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 国語教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 英語教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 社会科教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 理科教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 家政教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 音楽教育コース	実技	10:00～
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 国語教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 英語教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 社会科教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 理科教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 家政教育コース	面接	10:00～
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 保健体育コース	実技 面接	10:00～13:00 14:30～

※志願者数によっては、実技・面接の日時を変更することがあります。
その場合は、受験票返送時に「受験者注意事項」により通知します。

課程・学科・専攻・コース	検 査 時 間
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 音楽教育コース	実 技 10:00 ～
教育協働学科 グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース	面 接 10:00 ～
教育協働学科 グローバル教育専攻 多文化リテラシーコース	面接 (11/20) 10:00 ～ 面接 (11/21) 10:00 ～ (*) * 志願者数によっては実施しない場合があります。

※志願者数によっては、実技・面接の日時を変更することがあります。
その場合は、受験票返送時に「受験者注意事項」により通知します。

(3) 入学者選抜方法

課程・専攻・コース	選 抜 方 法
初等教育教員養成課程 幼児教育専攻	大学入学共通テスト(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書、活動報告書等)及び実技、面接を総合して行う。
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 昼間コース	大学入学共通テスト(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書、活動報告書等)及び面接を総合して行う。
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 夜間5年コース	大学入学共通テスト(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書、活動報告書等)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	大学入学共通テスト(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 学校教育コース	大学入学共通テスト(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 国語教育コース	大学入学共通テスト(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 英語教育コース	大学入学共通テスト(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書、英語能力測定試験の得点加算を利用する場合はその成績の証明書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 社会科教育コース	大学入学共通テスト(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 理科教育コース	大学入学共通テスト(5教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び面接を総合して行う。

※ただし、総合得点が著しく低い者、又は総合得点が低く大学入学共通テストの成績又は個別学力検査の成績のいずれかが著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とすることがあります。

課程・学科・専攻・コース	選 抜 方 法
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 家政教育コース	大学入学共通テスト(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 音楽教育コース	大学入学共通テスト(5教科5～6科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び実技検査を総合して行う。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 国語教育コース	大学入学共通テスト(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 英語教育コース	大学入学共通テスト(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書、英語能力測定試験の得点加算を利用する場合はその成績の証明書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 社会科教育コース	大学入学共通テスト(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 理科教育コース	大学入学共通テスト(5教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 家政教育コース	大学入学共通テスト(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 保健体育コース	大学入学共通テスト(5教科5～6科目)、出願書類(学校長が作成した調査書、推薦書及び競技成績に関する証明書、志望理由書)、実技検査及び面接を総合して行う。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 音楽教育コース	大学入学共通テスト(5教科5～6科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び実技検査を総合して行う。
教育協働学科 グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース	大学入学共通テスト(5教科7～8科目又は6教科7～8科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書、英語能力測定試験の得点加算を利用する場合はその成績の証明書)及び面接を総合して行う。
教育協働学科 グローバル教育専攻 多文化リテラシーコース	大学入学共通テスト(3教科3～4科目)、出願書類(学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書)及び面接を総合して行う。

※ただし、総合得点が著しく低い者、又は総合得点が低く大学入学共通テストの成績又は個別学力検査の成績のいずれかが著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とすることがあります。

(4) 令和4年度大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜の実施教科・科目等について

共通テストを課す学校推薦型選抜で、本学が課す令和4年度大学入学共通テストの利用教科・科目及び本学が実施する個別学力検査等は次のとおりです。（配点については48～49頁を参照してください。）

なお、令和4年度大学入学共通テストにおいて、本学が課す教科・科目を1科目でも受験しなかった場合は、選抜の対象としません。

また、個別学力検査等を1科目でも受験しなかった場合も、選抜の対象としません。

学部	課程・専攻・コース名		大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等	
			教科	科目名等			教科等	科目名等
教育学部	初等教育教員養成課程	幼児教育専攻	国	国	必須		その他	実技検査 面接 活動報告書等(注7)
			外	英(Ⅰ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
			地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1又は2			
			公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経	から1			
			数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
			理	数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1			
教育学部	小学校教育専攻	昼間コース	理	地歴公民から2科目 選択した場合	A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	⇒A又はB	その他	面接 活動報告書等(注7)
				地歴公民から1科目 選択した場合	C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2	⇒C又はD		
	夜間5年 コース		理	地歴公民から2科目 選択した場合	A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	⇒A又はB	その他	面接 活動報告書等(注7)
				地歴公民から1科目 選択した場合	C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2	⇒C又はD		
	特別支援教育 専攻		理	地歴公民から2科目 選択した場合	A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	A又はB	その他	面接
				地歴公民から1科目 選択した場合	C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2	⇒C又はD		
教育学部	小中教育専攻	学校教育 コース	理	地歴公民から2科目 選択した場合	A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	A又はB	その他	面接
				地歴公民から1科目 選択した場合	C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2	⇒C又はD		
教育学部	英語教育 コース	国語教育 コース	理	地歴公民から2科目 選択した場合	A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	A又はB	その他	面接
				地歴公民から1科目 選択した場合	C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2	⇒C又はD		
教育学部	英語教育 コース	英語教育 コース	理	地歴公民から2科目 選択した場合	A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1	⇒A又はB	その他	面接
				地歴公民から1科目 選択した場合	C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2	⇒C又はD		

※英語能力測定試験の成績により大学入学共通テストの得点の合計点に得点加算します。(注8)

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】及び【個別学力検査等】については、47頁も参照してください。

学部	課程・専攻・コース名		大学入学共通テスト試験の利用教科・科目名				個別学力検査等	
			教科	科目名等			教科等	科目名等
教育学部	学校教育教員養成課程	小中教育専攻	社会科教育コース	国 外 地歴 公民 数 理	国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	必須 から1 から2 から1 から1 A又はB	その他	面接
			理科教育コース	国 外 地歴 公民 数 理	国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2 〔5教科7～8科目〕	必須 から1 から1 から1 から1 C又はD	その他	面接
		中等教育専攻	家政教育コース	国 外 地歴 公民 数 理	国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 地歴公民から2科目 選択した場合 地歴公民から1科目 選択した場合 A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1 C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	必須 から1 から1又は2 から1 から1 ⇒A又はB ⇒C又はD	その他	面接
			音楽教育コース	国 外 地歴 公民 数 理	国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1 〔5教科5～6科目〕	必須 から1 から1 から1 から1 A又はB	その他	実技検査
		中等教育専攻	国語教育コース	国 外 地歴 公民 数 理	国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	必須 から1 から2 から1 から1 A又はB	その他	面接
			英語教育コース	国 外 地歴 公民 数 理	国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 地歴公民から2科目 選択した場合 地歴公民から1科目 選択した場合 A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1 C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕 ※英語能力測定試験の成績により大学入学共通テストの得点の合計点に得点加算します。(注8)	必須 から1 から1又は2 から1 から1 ⇒A又はB ⇒C又はD	その他	面接
			社会科教育コース	国 外 地歴 公民 数 理	国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 A 物基, 化基, 生基, 地基から2 B 物, 化, 生, 地から1 〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕	必須 から1 から2 から1 から1 A又はB	その他	面接
			理科教育コース	国 外 地歴 公民 数 理	国 英(リ), 独, 仏, 中, 韓 世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B 現社, 倫, 政経, 倫・政経 数Ⅰ, 数Ⅰ・数A 数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報 C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6) D 物, 化, 生, 地から2 〔5教科7～8科目〕	必須 から1 から1 から1 から1 C又はD	その他	面接

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】及び【個別学力検査等】については、47頁も参照してください。

学部	課程・専攻・コース名			大学入学共通テストの利用教科・科目名			個別学力検査等		
				教科	科目名等		教科等	科目名等	
教育学部	学校教育教員養成課程	中等教育専攻	家政教育コース	国 外 地歴 公民 数	国	必須	その他	面接	
					英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
					世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1又は2			
					現社, 倫, 政経, 倫・政経				
					数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
					数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1			
			理	地歴公民から2科目	A 物基, 化基, 生基, 地基から2	⇒A又はB			
				選択した場合	B 物, 化, 生, 地から1				
				地歴公民から1科目	C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1 (注6)		⇒C又はD		
				選択した場合	D 物, 化, 生, 地から2				
				〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕					
				保健体育コース	国 外 地歴 公民 数		国	必須	その他
英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1								
世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1								
現社, 倫, 政経, 倫・政経									
数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1								
数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1								
理	A 物基, 化基, 生基, 地基から2	A又はB							
	B 物, 化, 生, 地から1								
	〔5教科5～6科目〕								
	音楽教育コース	国 外 地歴 公民 数	国	必須	その他	実技検査			
			英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1					
			世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1					
現社, 倫, 政経, 倫・政経									
数Ⅰ, 数Ⅰ・数A			から1						
数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報			から1						
理	A 物基, 化基, 生基, 地基から2	A又はB							
	B 物, 化, 生, 地から1								
	〔5教科5～6科目〕								
	教育協働学科	グローバル教育専攻	英語コミュニケーションコース	国 外 地歴 公民 数	国	必須	その他	面接	
					英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
					世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から2			
現社, 倫, 政経, 倫・政経									
数Ⅰ, 数Ⅰ・数A					から1				
数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報					から1				
理			A 物基, 化基, 生基, 地基から2	A又はB					
			B 物, 化, 生, 地から1						
			〔5教科7～8科目又は6教科7～8科目〕						
			※英語能力測定試験の成績により大学入学共通テストと個別学力検査の得点の合計点に得点加算します。(注8)						
			多文化リテラシーコース	国 外 地歴 公民 数	国	必須	その他	面接	
					英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B									
現社, 倫, 政経, 倫・政経									
数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1								
数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報									
理	A 物基, 化基, 生基, 地基から2	A又はB							
	B 物, 化, 生, 地から1								
〔3教科3～4科目〕									

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】及び【個別学力検査等】については、47頁も参照してください。

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

(注1) 教科・科目名は次のように略しています。

国語→国, 外国語→外, 地理歴史→地歴, 数学→数, 理科→理

英語(リスニング含む)→英(リ), ドイツ語→独, フランス語→仏, 中国語→中, 韓国語→韓

世界史A→世A, 世界史B→世B, 日本史A→日A, 日本史B→日B, 現代社会→現社, 倫理→倫, 政治・経済→政経, 倫理, 政治・経済→倫・政経

数学Ⅰ→数Ⅰ, 数学Ⅰ・数学A→数Ⅰ・数A, 数学Ⅱ→数Ⅱ, 数学Ⅱ・数学B→数Ⅱ・数B, 簿記・会計→簿, 情報関係基礎→情報
物理基礎→物基, 化学基礎→化基, 生物基礎→生基, 地学基礎→地基, 物理→物, 化学→化, 生物→生, 地学→地

(※) 地理歴史と公民は独立した教科なので, それぞれ1教科として数えます。共通テスト出願の際には注意してください。

(注2) 大学入学共通テストにおいて, 指定した教科・科目数を超えて受験した場合は, 原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。

ただし, 地歴, 公民から1科目を課す募集区分において2科目を受験した場合, 又は理科(「物理」, 「化学」, 「生物」, 「地学」)から1科目を課す募集区分において2科目を受験した場合は, 解答順に, 前半60分で受験した科目を第1解答科目, 後半60分で受験した科目を第2解答科目とし, 第1解答科目の成績を用います。

(注3) 大学入学共通テストの外国語の「英語」にはリスニングテストを含みます。(リスニングテスト免除者は除く。)

また, 「英語」以外の外国語を受験した場合は, 筆記(200点満点)の成績をそのまま利用します。

(注4) 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は, 高等学校等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了(見込)者に限ります。

(注5) 地理歴史及び公民については, **同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません**。「同一名称を含む科目の組合せ」とは, 「世界史A」と「世界史B」, 「日本史A」と「日本史B」, 「地理A」と「地理B」, 「倫理」と「倫理, 政治・経済」及び「政治・経済」と「倫理, 政治・経済」の組合せをいいます。

(注6) 理科については, 「物理基礎」, 「化学基礎」, 「生物基礎」及び「地学基礎」の4科目から2科目並びに「物理」, 「化学」, 「生物」及び「地学」の4科目から1科目を選択する場合において, 同一名称を含む科目の組合せを選択することができません。

「同一名称を含む科目の組合せ」とは, 「物理基礎」と「物理」, 「化学基礎」と「化学」, 「生物基礎」と「生物」, 「地学基礎」と「地学」の組合せをいいます。

【個別学力検査等】欄

(注7) 「活動報告書等」とは, 高校時代等に行った活動実績の概要, そこで身につけた能力, スキルや経験が教職に就くためにどのように役立つのかなどを記載するものです。「調査書」は活動報告書等の評価の参考とします。

(注8) 英語能力測定試験の詳細については, 39～40頁を参照してください。

(5) 令和4年度大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜の配点等について

共通テストを課す学校推薦型選抜における令和4年度大学入学共通テスト及び本学の実施する個別学力検査等の配点は次のとおりです。

学部	課程・学科等	試験の区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	実技	面接	証明書	その他	小計	合計	加点
教育学部	初等教育教員養成課程	幼児教育専攻	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200				900	1460	
			個別学力検査					200	300		◎60	560		
		小学校教育専攻	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200				900	1290	
			個別学力検査						300		◎90	390		
		夜間5年 コース	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200				900	1290	
			個別学力検査						300		◎90	390		
	学校教育教員養成課程	特別支援教育 専攻	共通テスト	200	200	200	100	200				900	1200	
			個別学力検査						300			300		
		小中教育専攻	共通テスト	200	200	200	100	200				900	1200	
			個別学力検査						300			300		
		国語教育 コース	共通テスト	200	200	200	100	200				900	1200	
			個別学力検査						300			300		
		英語教育 コース	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	★400				1100	1500	30
			個別学力検査						400			400		
		社会科教育 コース	共通テスト	200	★400	200	100	200				1100	1450	
			個別学力検査						350			350		
		理科教育 コース	共通テスト	200	100	200	★400	200				1100	1500	
			個別学力検査						400			400		
		家政教育 コース	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200				900	1500	
			個別学力検査						600			600		
		音楽教育 コース	共通テスト	200	100	100	100	200				700	1260	
			個別学力検査					560				560		
	中等教育専攻	国語教育 コース	共通テスト	200	200	200	100	200				900	1200	
			個別学力検査						300			300		
		英語教育 コース	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	★400				1100	1500	30
			個別学力検査						400			400		
		社会科教育 コース	共通テスト	200	★400	200	100	200				1100	1450	
			個別学力検査						350			350		
		理科教育 コース	共通テスト	200	100	200	★400	200				1100	1500	
			個別学力検査						400			400		
		家政教育 コース	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200				900	1500	
			個別学力検査						600			600		
		保健体育 コース	共通テスト	200	100	100	100	200				700	1260	
			個別学力検査					210	200	150		560		
		音楽教育 コース	共通テスト	200	100	100	100	200				700	1260	
			個別学力検査					560				560		

配点横に記号又は注釈が付してある場合は、49頁を確認してください。

学部	課程・学科等		試験の区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	実技	面接	証明書	その他	小計	合計	加点
教育学部	教育協働学科	グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース	共通テスト	200	200	200	100	★400					1100	1700	100
			個別学力検査							600			600		
		多文化 リテラシー コース	共通テスト	200	*100	*100	*100	200					500	800	
			個別学力検査							300			300		

配点欄における記号・注釈について

- ※印を付してある2教科は、一方が100の場合は、もう一方は200となります。
 (選択できる科目数については44～47頁を参照してください。)
 *印は、選択教科を表しています。(選択教科については46頁を参照してください。)
 ★印は、傾斜配点をしている教科を表しています。(傾斜配点については下記を参照してください。)
 ◎印は、活動報告書等を表しています。

傾斜配点について

大学入学共通テストの外国語「英語」でリスニングテストを免除されている場合は、リーディング試験100点満点を200点満点に換算した成績を用います。
 また、「英語」以外の外国語を受験した場合は、筆記(200点満点)の成績をそのまま利用します。(ただし、英語教育コース及び英語コミュニケーションコースは400点満点に換算します。)
 その他、大学入学共通テストの1つ又は2つの教科に傾斜をかけている専攻・コースと、その教科・係数等は下表のとおりです。

課程・専攻・コース	教科・科目	素点 (A)	係数 (B)	配点 (A×B)	共通テスト 配 点 合 計
学校教育教員養成課程 小中教育専攻・中等教育専攻 英語教育コース	外国語	200	2	400	1100
学校教育教員養成課程 小中教育専攻・中等教育専攻 社会科教育コース	地理歴史 及び公民(注)	200	2	400	1100
学校教育教員養成課程 小中教育専攻・中等教育専攻 理科教育コース	理科	200	2	400	1100
グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース	外国語	200	2	400	1100

(注)地理歴史及び公民から合わせて2科目。(45・47頁を参照してください。)

(6) 実技検査

(6) - 1 実技検査の実施内容及び留意事項

課程・専攻・コース	実施内容及び留意事項
初等教育教員養成課程 幼児教育専攻	次のⅠ・Ⅱの検査を実施する。 Ⅰ. ピアノ 任意のピアノ演奏用独奏曲（バロックから近現代まで）を1曲演奏する。 (注) 1. ピアノ演奏用独奏曲とは、ピアノのために作曲された独奏曲である。 2. 上記の曲は、楽譜が刊行されている曲に限る。 3. 他の楽器のために作られた曲、簡易楽譜に編曲された曲は認めない。 4. 演奏は暗譜で行い、原則として繰り返しは省略すること。なお、演奏の途中で中止させる場合がある。 5. <u>選んだ曲の曲名をインターネット出願で登録して申請し、楽譜に志願者氏名を明記し、出願確認票とともに提出すること。</u> Ⅱ. 歌 唱 下記の5曲から任意の1曲を歌う。 1) アイスcreamのうた (作詞：佐藤義美 作曲：服部公一) 2) マーチング・マーチ (作詞：阪田寛夫 作曲：服部公一) 3) びわ (作詞：まどみちお 作曲：磯部俣) 4) 小さい秋みつけた (作詞：サトウハチロー 作曲：中田喜直) 5) めえめえ児山羊 (作詞：藤森秀夫 作曲：本居長世) (注) 1. 暗譜で歌うこと。 2. はじめの音を与えるので、伴奏なしで歌うこと。 3. 歌唱の途中で中止させる場合がある。 4. <u>選んだ曲の曲名をインターネット出願で登録して申請し、楽譜（移調して歌う場合は、移調した楽譜）に志願者氏名を明記し、出願確認票とともに提出すること。</u>
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 音楽教育コース	次のⅠ～Ⅲの検査を実施する。 Ⅰ. 歌 曲 下記の2曲から任意の1曲を歌う。 1) 浜辺の歌 成田為三 (As, F-Dur) 2) Caro mio ben G. Giordani (F, Es, D, C-Dur) (注) 1. 歌詞は、原語により暗譜で歌うこと。 2. 上記以外の調で歌う場合は、移調した伴奏用楽譜（正確、明瞭に記譜し、歌唱旋律及び歌詞を記入したもの）に志願者氏名を明記し、出願確認票とともに提出すること。（ただし、浜辺の歌については2番までとする。） 3. 伴奏者は本学で配置する。 Ⅱ. ピアノ 次の1), 2)からそれぞれ1曲ずつ、計2曲を演奏する。 1) 古典派のソナタから任意の一つの楽章（ただし緩徐楽章は除く） 2) ロマン派又は近現代の曲（ただし出版されている作品であること。邦人作品を含む。） (注) 1. 演奏は暗譜で行い、原則として繰り返しは省略すること。なお演奏の途中で中止させる場合がある。 2. <u>選んだ2曲の作曲者名と曲名をインターネット出願で登録して申請すること。</u> Ⅲ. 楽 典 (解答時間 60分) 高等学校の教科書 音楽Ⅰ 程度の内容

* 新型コロナウイルス感染症対策のため、実技検査内容が変更になる可能性があります。

課程・専攻・コース	実 施 内 容 及 び 留 意 事 項
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 保健体育コース	保健体育実技検査：保健体育実技技能に関するテスト A. 体づくり運動は全員が行う。 B～Dの中から2つを出願時に選択すること。 出願後の変更は認めない。 A. 体づくり運動：ラジオ体操第一、第二及びみんなの体操の中から、当日指定された体操を行う。 B. 陸上運動：ハードル走（ただし、(1)で競技成績に関する証明書を提出した者は、選択できない。） C. 器械運動：マット運動（ただし、(12)で競技成績に関する証明書を提出した者は、選択できない。） D. 球 技：バスケットボール（ただし、(2)～(11)で競技成績に関する証明書を提出した者は、選択できない。） (1) 陸上競技 (7) 卓 球 (13) ダンス (2) バスケットボール (8) 硬式テニス (14) 柔 道 (3) サッカー (9) ソフトテニス (15) 剣 道 (4) ラグビーフットボール (10) 硬式野球 (16) 水泳競技（競泳） (5) バレーボール (11) バドミントン (6) ハンドボール (12) 体操競技
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 音楽教育コース	次のⅠ～Ⅲの検査を実施する。 Ⅰ. 歌 曲 下記の2曲から任意の1曲を歌う。 1) Caro laccio F. Gasparini (Des, Es-Dur) 2) Sogno F. P. Tosti (As, B-Dur) (注) 1. 歌詞は、原語により暗譜で歌うこと。 2. 上記以外の調で歌う場合は、移調した伴奏用楽譜（正確、明瞭に記譜し、歌唱旋律及び歌詞を記入したもの）に志願者氏名を明記し、出願確認票とともに提出すること。 3. 伴奏者は本学で配置する。 Ⅱ. ピアノ 次の1)と2) 計2曲を演奏する。 1) L. v. Beethoven：ソナタ 第11番 B-Dur Op. 22 第1楽章 2) F. Chopin：ワルツ集より任意の1曲 (注) 演奏は暗譜で行い、原則として繰り返しは省略すること。なお演奏の途中で中止させる場合がある。 Ⅲ. 楽 典 (解答時間 60分) 高等学校の教科書 音楽Ⅰ 程度の内容

* 新型コロナウイルス感染症対策のため、実技検査内容が変更になる可能性があります。

(6) - 2 実技検査の採点・評価基準

課程・専攻・コース	実 施 内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
初等教育教員養成課程 幼児教育専攻	I. ピアノ II. 歌 唱	幼児教育において必要な表現力及び基礎技能について評価する。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 音楽教育コース	I. 歌 曲 II. ピアノ III. 楽 典	教員養成（音楽）に必要な基礎的技術，表現力等について検査する。 併せて，実技に必要な基礎的知識についても審査し，総合的に評価する。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 保健体育コース	保健体育実技検査 保健体育実技技能に関するテスト	中学校・高等学校の体育実技を指導するために必要な運動能力を総合的に採点・評価する。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 音楽教育コース	I. 歌 曲 II. ピアノ III. 楽 典	教員養成（音楽）に必要な基礎的技術，表現力等について検査する。 併せて，実技に必要な基礎的知識についても審査し，総合的に評価する。

(7) 面接（口述試験を含む。）の内容及び採点・評価基準

課程・専攻・コース	内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
初等教育教員養成課程 幼児教育専攻	幼児教育に関する理解・関心度・意欲をみる。表現力や協調性をみる内容を含む場合がある。	幼児教育に関する理解・関心度・意欲を総合的に評価する。表現力や協調性についても評価する場合がある。
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 昼間コース	学校教育に関する理解と認識及び思考力・表現力をみる。	面接をとおして，論理性・表現力・応用能力をみるとともに，学校教育・教職への熱意・適性について総合的に採点・評価する。
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 夜間5年コース	学校教育に関する理解と認識及び思考力・表現力をみる。	面接をとおして，論理性・表現力・応用能力をみるとともに，学校教育・教職への熱意・適性について総合的に採点・評価する。
学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	特別支援教育への理解と関心，また将来，特別支援教育に携わる教員となるのにふさわしい資質をみる。	特別支援教育に関する知識と理解力，特別支援教育をとりまく諸課題に対する洞察力，障がいのある子どもに関わることへのやりがいと使命感，特別支援教育の教職に就くことへの意欲などについて総合的に採点・評価する。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 学校教育コース	教育学，心理学，道徳教育学への深い関心と，将来，学校教育の教員となるのにふさわしい資質をみる。	学校教育の教員への意欲と，教育学，心理学，道徳教育学に関する関心の度合い，認識や洞察の深さなどについて総合的に採点・評価する。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 国語教育コース	将来，国語科分野の小学校，中学校の教員となるのにふさわしい資質をみるために，教育に関する問題意識・態度について尋ね，くわえて，日本語に関する言語知識及び言語文化について小文を提示し，その場で課題を課し，口頭で回答を求める。	面接をとおして，日本語に関する言語知識及び言語文化についての理解度や認識の度合いを確かめ，応答における論旨の明確さ，洞察の深さ，論展開の的確さ，言語表現力を判定する。ことばの教育への問題意識・態度と合わせ，国語科教育を担う教師としてふさわしい資質の持ち主であるか，総合的に評価する。

課程・学科・専攻等	内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 英語教育コース	将来、小学校、中学校の教員となるのにふさわしい資質と外国語活動又は英語教育に関する理解・認識・関心度及び英語運用能力をみる。	主に英語教育に関する理解等について総合的に評価するが、それに関連する英語運用能力についても一定の割合で採点・評価する。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 社会科教育コース	将来、小学校、中学校教員となるのにふさわしい資質と人文・社会的事象に関する関心、知識、理解力をみる。	小学校、中学校教員への意欲、人文・社会的事象に関する関心、知識、理解力を総合的に捉え、採点・評価する。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 理科教育コース	理科に関する深い関心と、将来、小学校、中学校の教員となるのにふさわしい資質をみる。	面接をとおして、自然科学に関する知識や理解度と小中理科教員への意欲を総合的に採点・評価する。
学校教育教員養成課程 小中教育専攻 家政教育コース	家庭科に関する深い関心と、将来、小学校、中学校の教員となるのにふさわしい資質をみる。	家庭科に関する知識や理解度と、家庭科教員への意欲を総合的に評価する。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 国語教育コース	将来、国語科分野の中学校、高等学校の教員となるのにふさわしい資質をみるために、教育に関する問題意識・態度について尋ね、くわえて、日本語に関する言語知識及び言語文化について小文を提示し、その場で課題を課し、口頭で回答を求める。	面接をとおして、日本語に関する言語知識及び言語文化についての理解度や認識の度合いを確かめ、応答における論旨の明確さ、洞察の深さ、論展開の的確さ、言語表現力を判定する。ことばの教育への問題意識・態度と合わせ、国語科教育を担う教師としてふさわしい資質の持ち主であるか、総合的に評価する。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 英語教育コース	将来、中学校、高等学校の教員となるのにふさわしい資質と英語教育に関する理解・認識・関心度及び英語運用能力をみる。	主に英語教育に関する理解等について総合的に評価するが、それに関連する英語運用能力についても一定の割合で採点・評価する。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 社会科教育コース	将来、中学校、高等学校教員となるのにふさわしい資質と人文・社会的事象に関する関心、知識、理解力をみる。	中学校、高等学校教員への意欲、人文・社会的事象に関する関心、知識、理解力を総合的に捉え、採点・評価する。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 理科教育コース	理科に関する深い関心と、将来、中学校、高等学校の教員となるのにふさわしい資質をみる。	面接をとおして、自然科学に関する知識や理解度と理科教員への意欲を総合的に採点・評価する。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 家政教育コース	家庭科に関する深い関心と、将来、中学校、高等学校の教員となるのにふさわしい資質をみる。	家庭科に関する知識や理解度と、家庭科教員への意欲を総合的に評価する。
学校教育教員養成課程 中等教育専攻 保健体育コース	将来、保健体育教員となるのにふさわしい資質と、保健体育科目に関する関心・知識・理解力をみる。	中学校、高等学校保健体育教員への意欲、保健体育科目に関する関心・知識・理解力を総合的に捉え採点・評価する。
教育協働学科 グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース	英問英答を中心とした口述試験を行い、英語圏言語文化に関連する教科に関する理解と認識をみる。	英問英答を中心とした口述試験を行い、英語圏言語文化に関連する教科に関する理解、認識、探究心及び運用能力を総合的に評価する。
教育協働学科 グローバル教育専攻 多文化リテラシーコース	日本やアジア、ヨーロッパの言語文化、社会・芸術文化、教育文化に関する問題意識、知識や理解力、自らの意見を的確に表現する力をみる。	日本やアジア、ヨーロッパの言語文化、社会・芸術文化、教育文化に関する問題意識、知識や理解力、表現力を総合的に評価する。

(8) 活動報告書等の内容及び採点・評価基準

課程・学科・専攻等	内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
初等教育教員養成課程 幼児教育専攻	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価するために、高等学校の学内外における課外活動の内容についての報告書等（活動内容ならびに学びに関する作文）の提出を求める。活動内容については調査書も参考にする。	高等学校における学内外の課外活動の具体的内容とその活動によって得られた本人自身の学びに関する作文によって、大学入学後の学習態度（特に、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）及び教職への適性（特に、主体性を持って多様な人々と協働する態度）について総合的に評価する。
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 昼間コース	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価するために、高等学校の学内外における課外活動の内容についての報告書等（活動内容ならびに学びに関する作文）の提出を求める。活動内容については調査書も参考にする。	高等学校における学内外の課外活動の具体的内容とその活動によって得られた本人自身の学びに関する作文によって、大学入学後の学習態度（特に、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）及び教職への適性（特に、主体性を持って多様な人々と協働する態度）について総合的に評価する。
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 夜間5年コース	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価するために、高等学校の学内外における課外活動の内容についての報告書等（活動内容ならびに学びに関する作文）の提出を求める。活動内容については調査書も参考にする。	高等学校における学内外の課外活動の具体的内容とその活動によって得られた本人自身の学びに関する作文によって、大学入学後の学習態度（特に、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）及び教職への適性（特に、主体性を持って多様な人々と協働する態度）について総合的に評価する。

Ⅲ 大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜 (特別枠)

1 募集人員

キャンパス	課程・学科	専攻	コース	募集人員（注1）
天王寺 （注2）	初等教育 教員養成課程	小学校教育専攻	昼間コース	5人
教 育 学 部 合 計				5人

（注1）合格者（入学手続者）が募集人員に満たなかった場合は、一般選抜の合格者で補充します。

（注2）初等教育教員養成課程の小学校教育専攻昼間コースは、1～2年次を柏原キャンパスで修学します。

2 出願資格及び要件

以下に該当する者で、令和4年度大学入学共通テストにおいて、本学が各募集区分で指定した教科・科目（61頁の「令和4年度大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）の実施教科・科目等について」を参照）を受験する者。

なお、大学入学共通テストの外国語で英語を受験する場合は、必ずリスニングテストを受験すること。（リスニングテスト免除者は除く。なお、配点については62頁を参照）

課程・専攻	出願資格及び要件
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 昼間コース	次のすべてに該当し、学校長が特に優れていると認め、責任をもって推薦できる者、かつ、合格した場合に入学を確約できる者 ただし、推薦人数は(4)の①に該当する場合は1校5名以内、②に該当する場合は1校2名以内とし、①②合わせて1校5名以内とする。 (1) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校高等部を含む。以下同じ。）を令和4年3月卒業見込みの者及び学校教育法施行規則第93条第3項の規定に基づき令和3年度中に高等学校を卒業又は卒業見込みの者、若しくは文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和3年度中に修了又は修了見込みの者 (2) 将来にわたり大阪府内の小学校での学校教育に携わることを強く志望する者 (3) 将来にわたり大阪府内の小学校教員として活躍を期待できる十分な資質、適性を有すると学校長が判断する者 (4) 次のいずれかに該当する者 ①高等学校在学中に教育に関する科目を4単位以上修得又は修得見込みの者 ②高等学校在学中に教育委員会や大学が主催する教員養成に関する高校生対象の教育プログラム等（15時間以上のものに限る）に在学校の了解を得て参加し、修了又は修了見込みの者 ※修了又は修了見込みの教育プログラムが、出願資格に該当するかどうか不明な場合は、10月25日（月）までに、入試課に問い合わせてください。

※ 出願資格及び要件について不明な点がある場合は、出願に先立ち早めに入試課へ問い合わせてください。

3 出願期間・出願方法等

(1) 出願期間

令和3年11月1日（月）から令和3年11月6日（土）まで（11月6日必着）

(2) 出願方法

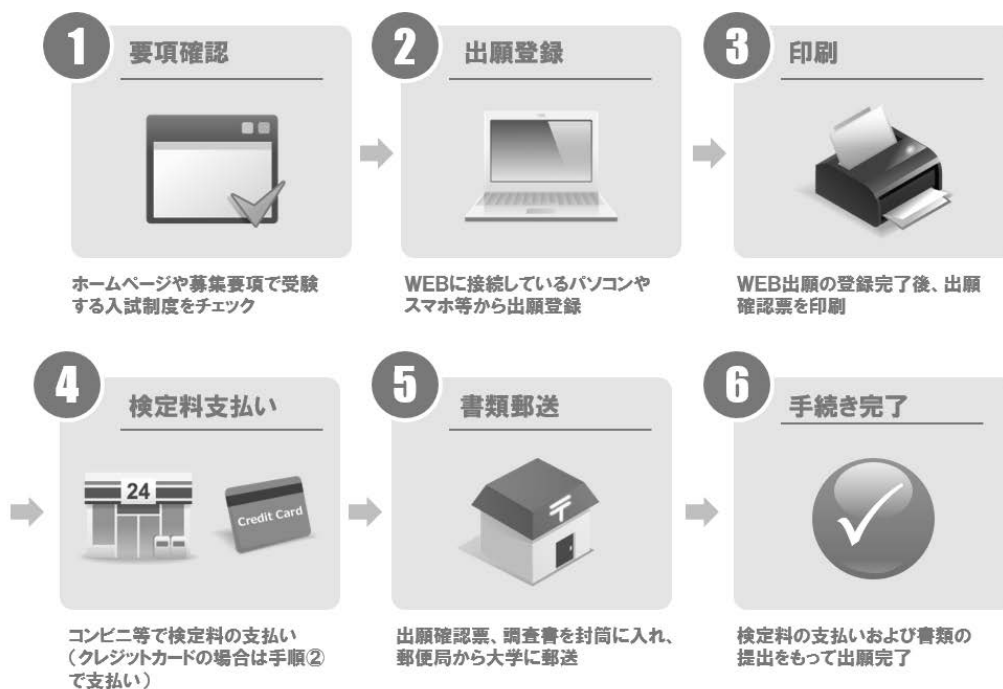
インターネットで必要事項を入力した上で、調査書等の出願書類を郵送する「インターネット出願」を導入しています。出願完了には下記A, B, Cの順番で全ての手続が必要です。なお、各手続には受付期間が定められており、いずれか一つでも出願受付期間中に手続が完了できない場合は出願を受理できませんので、十分ご注意ください。

A	インターネットによる出願登録	令和3年10月25日（月）9時～令和3年11月6日（土）12時（日本時間）
B	入学検定料等（支払い手数料含む）の支払い	令和3年10月25日（月）9時～令和3年11月6日（土）12時（日本時間）
C	出願に必要な書類等の郵送での提出（持参不可）	令和3年11月1日（月）～令和3年11月6日（土）必着※

※必要書類等の受付は、郵送（書留速達）のみとし、出願受付期間後に到着した場合は受理しないので郵便事情を考慮し、余裕をもって早めに送付してください。

ただし、11月3日（水・祝）までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します。

【出願の流れ】



(2) - A インターネットによる出願登録

※ 本学が出願登録業務を委託した外部ウェブサイトでの手続きになります。**詳細は、73頁以降に掲載していますので、必ず確認の上、登録を行ってください。**

【インターネット出願登録受付期間】

令和3年10月25日(月)9時00分～令和3年11月6日(土)12時00分(日本時間)

※ インターネット環境がない等の理由で、「インターネットによる出願登録」を行えない場合は、大阪教育大学入試課まで相談してください。相談時期によっては、出願が間に合わない場合がありますので、早めの連絡をお願いいたします。(大阪教育大学入試課：072-978-3324)

(2) - B 入学検定料等の支払い

【入学検定料等の支払い受付期間】

令和3年10月25日(月)9時00分～令和3年11月6日(土)12時00分(日本時間)

- 1 入学検定料等 17,344円(入学検定料17,000円と受験票送付用郵便代344円)。
入学検定料等支払い時に、別途インターネット出願システム利用料(459円)がかかります。

2 支払方法

クレジットカード、ネットバンキング、コンビニエンスストア、Pay-easy(ペイジー)の利用が可能です。それぞれの詳しい支払方法や手続き・注意事項等は「インターネット出願ページ」で出願情報登録後の「お支払方法選択」でご確認ください。

支払方法	備考
クレジットカード (VISA, MasterCard)	入学検定料等の支払いをインターネット出願と同時に完了することができます。
ネットバンキング (PayPay 銀行、ゆうちょ銀行、楽天銀行、au じぶん銀行等)	
コンビニエンスストア (ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、セブンイレブン、デイリーヤマザキ・ヤマザキデイリーストア、セイコーマート)	各コンビニにより支払方法が異なりますので、詳細はインターネット出願登録ページ内の「コンビニエンスストアでお支払い」をご確認ください。 支払い後、決済データの反映に数時間かかります。
Pay-easy(ペイジー)を利用可能なATM	取扱金融機関のPay-easy ロゴが付いているATMで支払うことができます。

3 注意事項

出願後、一旦受理した入学検定料等は65頁6の場合を除き返還できません。

東日本大震災(平成23年3月11日)及び熊本地震(平成28年4月14日)により被災した志願者を対象に入学検定料の免除を行う場合があります。詳細は以下のウェブページを参照してください。

https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/kenteiryoku_menjyo.html

(2) - C 出願に必要な書類等の郵送での提出(持参不可)

インターネット出願において、出願登録及び入学検定料等の支払いを行っただけでは、出願手続き完了にはなりません。郵送受付期間に必要な書類等を書留速達により郵送(必着)する必要があります。**郵送受付期間を過ぎたものは受理しないので、郵便事情を十分考慮し、余裕をもって早めに送付してください。**

【出願書類の郵送受付期間】

令和3年11月1日(月)～ 令和3年11月6日(土) (必着)

※ 郵送受付期間後に到着した場合でも、11月3日(水・祝)までの発信局消印がある書留速達郵便に限り受理します。(郵便事情を考慮して、早めに送付してください。)

(3) 出願書類等

1. 出願期間内に提出する書類等

	書 類 等	提出該当者	摘 要
インターネット出願登録内容の印刷物	① 出 願 確 認 票 (書類確認票を含む)	全 員	インターネット出願登録ページの出願登録完了画面からA4用紙に印刷してください。必ず片面印刷にしてください。
	② 写 真 票	全 員	写真は2枚(同一) 必要です。インターネット出願登録完了画面からA4用紙に片面印刷し、写真を所定の位置に貼り付けてください。 (カラー、正面、上半身、脱帽、縦4cm×横3cmで3か月以内に撮影したもの。写真の裏面に氏名及び志望専攻名を記入してください。)
	③ 宛 名 ラ ベ ル	全 員	出願登録完了画面からA4用紙に印刷(カラー推奨)の上、必要書類郵送用封筒(市販の角2封筒)の表面に貼り付けてください。
その他必要となる書類(⑥から⑨は本学ウェブページから印刷してください)	④ 調 査 書	全 員	出身学校長が作成し、厳封したもの。 なお、出願資格及び要件(4)①で出願する場合で、教育に関する科目4単位について、出願時に修得見込みの場合は、その旨を備考欄に記載してください。
	⑤ 教育プログラム等の修了証書等	出願資格及び要件(4)②で出願する場合のみ	高等学校在学中に修了した教育プログラム等の修了証書等(コピー可)を提出してください。提出いただいた修了証書等は一切返却しません。 【注】コピーで提出する場合は、学校が原本証明したものを必ず提出してください。 また、出願受付期間後に提出することはできません。 なお、出願時に修了見込みの場合は、教育プログラム等の日程や内容を記載したものを添付し、あわせて、修了後、ただちに修了証書等(コピー可)を提出する旨を記載した文書(様式任意)を出身学校長が作成のうえ、提出すること。 ※修了又は修了見込みの教育プログラムが出願資格に該当するかどうか不明な場合は、10月25日(月)までに入試課に問い合わせてください。
	⑥ 推 薦 書	全 員	本学所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したもの。
	⑦ 同 意 書	全 員	本学所定の様式により出身学校長が作成し、厳封したもの。
	⑧ 志 望 理 由 書	全 員	本学所定の様式に志願者が自筆で800字程度で作成してください。
	⑨ 活 動 報 告 書	全 員	本学所定の様式2種類(活動報告書(A)及び(B))それぞれ、A4用紙に片面印刷のうえ、志願者が自筆で作成してください。

2. 合格内定者が送付する書類 ※合格内定者のみの提出となるため、注意してください。

書 類 等	提出該当者	摘 要
共通テスト成績請求票送付用紙	合格内定者のみ	共通テスト成績請求票は、出願時点では大学入試センターから志願者へ送付されていませんので、到着次第、本学ウェブページから所定の送付用紙をA4サイズで印刷し「令和4共通テスト成績請求票」(国公立推薦型選抜用)を貼付して、令和3年12月20日(月)必着で郵送してください。

※合格内定者には、合格内定者の発表後に、合格内定通知を発送いたします。

(4) 障がい等のある者の事前相談

障がい又は病気その他の理由で、受験上の配慮を希望する者は、令和3年10月22日（金）までに入試課へ相談してください。詳細は、以下のウェブページを参照してください。

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/jizensoudan.html>

<問い合わせ先>入試課（受付時間：平日9：00～17：00）

【TEL：072-978-3324】

また、本学は障がい学生修学支援ルームを設置しています。本ルームは入学後に修学上の配慮を希望する者の事前相談にも応じています。

<問い合わせ先>障がい学生修学支援ルーム（受付時間：平日9：00～17：00）

【TEL：072-978-3479 電子メール：sienroom@bur.osaka-kyoiku.ac.jp】

(5) 出願に当たっての留意事項

国公立大学の学校推薦型選抜（大学入学共通テストを課す（特別枠を含む）場合、課さない場合を含めて）へ出願することができるのは、一つの大学・学部に限ります。

なお、不合格となった場合に備え、本学又は他の国公立大学の「前期・後期」等へ出願することができます。

注1 出願書類受理後は、出願事項の変更は認めません。また、出願事項が事実と相違していることが判明した場合は、合格又は入学許可を取り消すことがあります。

注2 受理した出願関係書類は、いかなる理由があっても一切返還できません。

注3 本学が各募集区分で指定した令和4年度大学入学共通テストの教科・科目を受験することを確認してください。（61頁、70～72頁参照）

4 入学者選抜方法等

(1) 実施日 令和3年11月20日（土）

ただし、志願者数によっては、11月21日（日）にも実施する場合があります。

(2) 検査科目・時間等

課程・専攻・コース	検査時間
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 昼間コース	面接 10：00～

※ 志願者数によっては、面接の日時を変更することがあります。
その場合は、受験票返送時に「受験者注意事項」により通知します。

(3) 入学者選抜方法

課程・専攻・コース	選抜方法
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 昼間コース	出願書類（学校長が作成した調査書及び推薦書、志望理由書、活動報告書等）及び面接を総合して行い、合格内定者を決定する。 さらに、大学入学共通テスト（5教科7～8科目又は6教科7～8科目）において本学の定める教科・科目を受験し、その総合点が満点の60%に達した合格内定者を最終合格者として決定する。

※個別学力検査等の総合得点が著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とすることがあります。

（４）令和４年度大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）の実施教科・科目等について
 共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）で、本学が課す令和４年度大学入学共通テストの利用教科・科目及び本学の実施する個別学力検査等は次のとおりです。

なお、令和４年度大学入学共通テストにおいて、本学が課す教科・科目を１科目でも受験しなかった場合は、最終合格者として決定しません。また、個別学力検査等を１科目でも受験しなかった場合は、選抜の対象としません。

学部	課程・専攻・コース名			大学入学共通テストの利用教科・科目名				個別学力検査等	
				教科	科目名等			教科等	科目名等
教育学部	初等教育教員養成課程	小学校教育専攻	昼間コース	国	国	必須	その他	面接 活動報告書(注7)	
				外	英(リ), 独, 仏, 中, 韓	から1			
				地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B	から1又は2			
				公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経				
				数	数Ⅰ, 数Ⅰ・数A	から1			
					数Ⅱ, 数Ⅱ・数B, 簿, 情報	から1			
				理	地歴公民から2科目	A 物基, 化基, 生基, 地基から2			
					選択した場合	B 物, 化, 生, 地から1	⇒A又はB		
					地歴公民から1科目	C 物基, 化基, 生基, 地基から2 並びに 物, 化, 生, 地から1(注6)	⇒C又はD		
					選択した場合	D 物, 化, 生, 地から2			
[5教科7～8科目又は6教科7～8科目]									

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

（注１）教科・科目名は次のように略しています。

国語→国，外国語→外，地理歴史→地歴，数学→数，理科→理

英語（リスニング含む）→英（リ），ドイツ語→独，フランス語→仏，中国語→中，韓国語→韓

世界史A→世A，世界史B→世B，日本史A→日A，日本史B→日B，現代社会→現社，倫理→倫，政治・経済→政経，

倫理, 政治・経済→倫・政経

数学Ⅰ→数Ⅰ，数学Ⅰ・数学A→数Ⅰ・数A，数学Ⅱ→数Ⅱ，数学Ⅱ・数学B→数Ⅱ・数B，簿記・会計→簿，情報関係基礎→情報

物理基礎→物基，化学基礎→化基，生物基礎→生基，地学基礎→地基，物理→物，化学→化，生物→生，地学→地

（※）地理歴史と公民は独立した教科なので，それぞれ１教科として数えます。共通テスト出願の際には注意してください。

（注２）大学入学共通テストにおいて，指定した教科・科目数を超えて受験した場合は，原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。

ただし，地歴，公民から１科目を課す募集区分において２科目を受験した場合，又は理科（「物理」，「化学」，「生物」，「地学」）から１科目を課す募集区分において２科目を受験した場合は，解答順に，前半６０分で受験した科目を第１解答科目，後半６０分で受験した科目を第２解答科目とし，第１解答科目の成績を用います。

（注３）大学入学共通テストの外国語の「英語」にはリスニングテストを含みます。（リスニングテスト免除者は除く。）

また，「英語」以外の外国語を受験した場合は，筆記（200点満点）の成績をそのまま利用します。

（注４）「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択解答することができる者は，高等学校等においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科の修了（見込）者に限ります。

（注５）地理歴史及び公民については，同一名称を含む科目の組合せで２科目を選択することはできません。「同一名称を含む科目の組合せ」とは，「世界史A」と「世界史B」，「日本史A」と「日本史B」，「地理A」と「地理B」，「倫理」と「倫理，政治・経済」及び「政治・経済」と「倫理，政治・経済」の組合せをいいます。

（注６）理科については，「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」及び「地学基礎」の４科目から２科目並びに「物理」，「化学」，「生物」及び「地学」の４科目から１科目を選択する場合において，同一名称を含む科目の組合せを選択することができません。

「同一名称を含む科目の組合せ」とは，「物理基礎」と「物理」，「化学基礎」と「化学」，「生物基礎」と「生物」，「地学基礎」と「地学」の組合せをいいます。

【個別学力検査等】欄

（注７）「活動報告書等」とは，高校時代等に行った活動実績の概要，そこで身につけた能力，スキルや経験が教職に就くためにどのように役立つのかなどを記載するものです。「調査書」は活動報告書等の評価の参考とします。

(5) 令和4年度大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）の配点等について

共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）における令和4年度大学入学共通テスト及び本学の実施する個別学力検査等の配点は次のとおりです。

学部	課程・学科等			試験の区分	国語	地歴 公民	数学	理科	外国語	面接	その他	小計	合計
教育学部	初等教育教員養成課程	小学校教育専攻	昼間コース	個別学力検査						300	◎90	390	390
				共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200			900	◆

配点欄における記号・注釈について

※印を付してある2教科は、一方が100の場合は、もう一方は200となります。

（選択できる科目数については61頁を参照してください。）

◎印は、活動報告書等を表しています。

◆印は、令和4年度大学入学共通テストにおいて本学の定める教科・科目を受験し、その総合点が満点の60%に達した合格内定者を最終合格者として決定します。

(6) 面接（口述試験を含む。）の内容及び採点・評価基準

課程・専攻・コース	内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 昼間コース	学校教育に関する理解と認識及び思考力・表現力をみる。	面接をとおして、論理性・表現力・応用能力をみるとともに、学校教育・教職への熱意・適性について総合的に採点・評価する。

(7) 活動報告書等の内容及び採点・評価基準

課程・学科・専攻等	内 容	採 点 ・ 評 価 基 準
初等教育教員養成課程 小学校教育専攻 昼間コース	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価するために、高等学校の学内外における課外活動の内容についての報告書等（活動内容ならびに学びに関する作文）の提出を求める。活動内容については調査書も参考にする。	高等学校における学内外の課外活動の具体的内容とその活動によって得られた本人自身の学びに関する作文によって、大学入学後の学習態度（特に、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）及び教職への適性（特に、主体性を持って多様な人々と協働する態度）について総合的に評価する。

5 入学後の検証等について

大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）は、特に、大阪府内の優れた（小学校）教員を養成するという観点から、学力のみならず教員になることへの意欲や適性を重視した選抜を行います。

さらに、入試のみならず、入学されてからも、高大接続の観点から、本人承諾のうえ、入学後の成績を共有するなど、出身高等学校と連携し、本学校推薦型選抜の調査・研究及び効果検証等を行う予定です。

そのため、大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）の受験にあたっては、上記趣旨をご理解いただいたうえで、受験していただきますようお願いいたします。

各推薦共通

1 入学試験場

大阪教育大学柏原キャンパス 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1
[近鉄大阪線「大阪教育大前駅」下車(「鶴橋駅」から約30分) 南東へ約1km
エスカレーター(上り専用3基乗り継ぎ), 途中階段があります。]

※令和3年9月15日(水)～12月24日(金)まで、エスカレーター1・2号機は工事を行いますので、運転を停止します(3号機は通常どおり運転します)。

2 合格者の発表

合格者の発表は、大学ウェブページ(https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/goukaku_happyou.html)において掲載します。

合格者には、合格通知書及び入学手続関係書類を別途郵送しますので、必ず合格通知書で確認してください。合格者の発表について、電話等による照会には、一切応じません。

また、大学周辺での合格電報等の勧誘・受付等は本学とは一切関係ありません。

なお、学校長には、郵送により通知します。

選 抜 方 法	合 格 発 表 日	時 間
大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜	令和3年12月 1日(水)	9:00
大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜	令和4年 2月13日(日)	
大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜(特別枠)	合格内定 令和3年12月 1日(水)※ 最終合格 令和4年 2月13日(日)※	

※大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜(特別枠)については、提出された書類並びに面接により、総合判定のうえ、合格内定者を決定します。

その後、令和4年度大学入学共通テストにおいて本学の定める教科・科目を受験し、その総合点が満点の60%に達した合格内定者を最終合格者として決定します。

3 入学手続等

(1) 入学手続期限及び方法

入学手続書類を本学所定の封筒に入れ、郵便事情を考慮のうえ、期日に間に合うよう「速達・簡易書留郵便」により郵送してください(合格発表から入学手続までの期間が短いので注意してください)。

やむを得ない事情があって、郵送で入学手続ができない場合には、事前相談のうえ、所定の日時に持参(来学)による入学手続を認めます。詳細は入学手続関係書類を参照してください。

選 抜 方 法	手 続 期 限	
	郵送手続期限(必着)	やむを得ない事情による持参手続
大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜	令和3年12月14日(火) 必着	令和3年12月15日(水) 13:00～15:00
大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜	令和4年 2月20日(日) 必着	令和4年 2月21日(月) 13:00～15:00
大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜(特別枠)	令和4年 2月20日(日) 必着	令和4年 2月21日(月) 13:00～15:00

なお、入学手続期限までに入学手続を完了しない者は、入学辞退者として取り扱いますが、その場合においても、65頁(5)により「推薦入学辞退願(様式随意)」を提出しなければ、以後、当該学校は、推薦校として取り扱われないこともありますので、入学辞退の手続は必ず行ってください。

(2) 入学手続書類送付先

大阪教育大学（柏原キャンパス）学生支援課

＊やむを得ない事情による持参手続場所は、大阪教育大学柏原キャンパスとします。

(3) 入学手続に必要なもの

ア 本学受験票

大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜及び大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）の場合は、大学入学共通テストの受験票も必要です。

イ 入 学 料 282,000円（ただし、夜間5年コースは141,000円）

入学手続後、既に納付した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。（入学辞退の場合も同様。）

下記の期日までに銀行窓口にて振込手続を行ってください。

大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜 令和3年12月 10日（金）

大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜 令和4年 2月 18日（金）

大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠） 令和4年 2月 18日（金）

（注）1 上記記載の金額は、令和3年度入学者の金額であり、令和4年度入学者については、変更される場合があります。なお、詳細については合格者に別途通知します。

2 入学料の免除・徴収猶予制度があります。詳細は、66頁を参照してください。

ウ 入学時諸費用

大阪教育大学校友会

学 部 70,000円（ただし、夜間5年コースは55,000円）

（注）1 「大阪教育大学校友会」は、教育研究活動、大学行事、課外活動、福利厚生、奨学金給付及び就職への支援など様々な学生支援事業を行うとともに、在学生を含む卒業生、修了生の同窓会活動への支援を行う組織です。

2 入学時のみの費用です。

3 上記記載の金額は、変更される場合があります。詳細については、入学手続関係書類を参照してください。

(4) その他入学に必要な費用

ア 授 業 料

本学では授業料の「口座振替制度（口座引落とし）」を実施しており、入学後、学生名義の預金口座から、前期分は4月に、後期分は10月に授業料を引き落とします。

授 業 料 （前期分） 267,900円（ただし、夜間5年コースは133,950円）

（年 額） 535,800円（ただし、夜間5年コースは267,900円）

（注）1 上記記載の金額は、令和3年度入学者の金額であり、令和4年度入学者については、変更される場合があります。なお、詳細については合格者に別途通知します。

2 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

3 授業料の免除・徴収猶予制度があります。詳細は、66頁を参照してください。

4 このほか在学中に、テキスト代や英語能力測定試験、実習等の経費、課外活動等の経費は別途必要となる場合があります。

(5) 入学辞退について

合格者で特別の事情があつて推薦入学を辞退する場合は、当該者の推薦を行った学校長と連名の「推薦入学辞退願（様式任意）」を下記の期限までに本学学長あてに提出し、許可を得てください。

選 抜 方 法	期 限
大学入学共通テストを課さない学校推薦型選抜	令和4年1月28日（金）12：00
大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜	令和4年2月16日（水）17：00
大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜（特別枠）	令和4年2月16日（水）17：00

4 一般選抜との併願について

学校推薦型選抜の志願者は、不合格となった場合に備え、本学又は他の国公立大学・学部的一般選抜に出願することができます。ただし、学校推薦型選抜に合格した場合は、上記3（5）で推薦入学の辞退を許可された場合を除き、一般選抜の個別学力検査等を受験しても、入学許可は得られません。

5 個人情報の取扱いについて

出願受付を通じて取得した個人情報及び入学試験の実施により取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」、「国立大学法人大阪教育大学保有個人情報等管理規程」及び「国立大学法人大阪教育大学保有個人情報開示等取扱規程」に基づき、適切に管理し、以下のとおり取扱います。法令に基づく場合を除き、個人情報の目的外利用及び第三者に提供することはありません。

1. 入学者の選抜、合格発表、入学手続業務等に利用します。
2. 入学者の個人情報については、教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、授業料免除、奨学金申請等）、授業料徴収等に関する業務に利用します。
3. 氏名、性別、生年月日、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限り、国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、独立行政法人大学入試センター及び併願先国公立大学に送達します。
4. 入学者選抜に関する個人情報は、個人が特定できない形で処理したうえで、今後の入学者選抜等における調査、研究及びこれらに付随する業務を行うための分析資料として利用します。

なお、以上の業務の一部又はすべてを外部に委託し、必要な個人情報を提供する場合は、委託先との間で適切な取扱いに関する契約を締結します。

6 入学検定料等の返還請求について

次のア）、イ）の場合を除き、出願後、一旦受理した入学検定料等は、返還できません。

ア) 入学検定料等を払い込んだが、出願しなかった場合、又は出願資格を有していないため出願書類が受理されなかった場合

イ) 入学検定料等を誤って二重に払い込んだ場合

上記 ア）、イ）に該当する場合は、大阪教育大学入試課まで問い合わせてください。

TEL 072-978-3324 受付時間：平日9：00～17：00
FAX 072-978-3327

返還に係る振込手数料は請求者の負担とします。

また、返還請求には領収証、明細票等の支払いを確認できる書類が必要となりますので必ず保管しておいてください。クレジットカードで支払った場合は、入金確認メールを打ち出したものでもかまいません。なお、入学検定料等の返還時期は、返還請求の時期にかかわらず、令和4年度学校推薦型選抜の入試終了後、12月下旬に一括して返還手続きを行います。

学生生活案内

(1) 入学料免除・授業料免除等

ア 入学料免除・授業料免除・日本学生支援機構給付奨学金（高等教育修学支援新制度）

対象者	「高等教育修学支援新制度」において「大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）」に定められた大学等の支援を受ける者又は支援を希望する者 (本制度は、住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生に対して、入学料・授業料の減免及び給付奨学金の支給を行う制度です。給付奨学金については(2)奨学金を参照してください。) 詳細については、合格者に送付する入学手続関係書類を参照してください。
-----	--

イ 入学料徴収猶予

下記の対象者のいずれかに該当する者については、本人の申請に基づき選考の上、徴収猶予が許可された場合、当該年度の8月末日まで猶予されます。

対象者	(ア) 経済的理由によって入学料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者 (イ) 本学入学前1年以内（令和3年4月から令和4年3月まで）において入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、又は入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、入学料の納付が著しく困難であると認められる者 (ウ) (イ) に準ずるやむを得ない事情があると認められる者
-----	---

ウ 授業料徴収猶予

下記の対象者のいずれかに該当する者については、前期・後期ごとに、本人の申請に基づき選考の上、徴収猶予が許可された場合、前期は8月末日、後期は2月末日まで猶予されます。

対象者	(ア) 経済的理由によって授業料の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者 (イ) 本学入学前1年以内（令和3年4月から令和4年3月まで）において本人の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という。）が死亡し、又は本人若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより、授業料の納付が著しく困難であると認められる者 (ウ) (イ) に準ずるやむを得ない事情があると認められる者
-----	---

(注) いずれも申請についての詳細は、合格者に送付する入学手続関係書類を参照してください。大学ウェブページでも案内しています。

入学料免除 <https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/gakusei/nyumen.html>

授業料免除 <https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/gakusei/jyumen.html>

<問い合わせ先> 学生支援課奨学厚生係 (TEL 072-978-3305)

(2) 奨学金

学業成績が優秀で、経済的理由により学資の支弁が困難な者には、《日本学生支援機構奨学金(給付・貸与)》又は《一般奨学金》の制度があります。一般奨学金には、大きく分けて地方公共団体の奨学金と民間育英団体の奨学金とがあります。

(参考) 令和3年度入学者 日本学生支援機構奨学金の給付・貸与月額例

奨学金の種類	自宅通学	自宅外通学
給付奨学金	29,200円(第Ⅰ区分)・19,500円(第Ⅱ区分)・9,800円(第Ⅲ区分)	66,700円(第Ⅰ区分)・44,500円(第Ⅱ区分)・22,300円(第Ⅲ区分)
第一種奨学金(無利子)	20,000円・30,000円・45,000円	20,000円・30,000円・40,000円・51,000円
第二種奨学金(有利子)	20,000円・30,000円・40,000円・50,000円・60,000円・70,000円・80,000円・90,000円・100,000円・110,000円・120,000円のいずれかより選択	

(注) 申請についての詳細は、合格者に送付する入学手続関係書類を参照してください。

大学ウェブページ(<https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/gakusei/syougaku.html>)でも案内しています。

<問い合わせ先> 学生支援課奨学厚生係 (TEL 072-978-3305)

(3) 学生教育研究災害傷害保険・学研災付帯賠償責任保険

本学では、大学の安全管理責任の観点から、学生の教育研究活動中の災害に対する補償制度として、「学生教育研究災害傷害保険(学研災)」・「通学中等傷害危険担保特約(通学特約)」及び「学研災付帯賠償責任保険(付帯賠償)」の「2,000万円・Aコース」に加入登録をしており、本学学生は全員加入とします。

【保険料】 (円)

区 分	保険期間	学研災	通学特約	付帯賠償	合計金額
学 部	4年間	2,300	1,000	1,360	4,660
夜間5年コース	5年間	500	1,250	1,700	3,450

(注) 保険加入手続は本学が行います。なお、保険料は入学時諸費用(校友会会費)により納入しますので、個別にお支払いいただく必要はありません。保険についての詳細は、合格者に送付する入学手続関係書類を参照してください。

大学ウェブページ(<https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/gakusei/hoken.html>)でも案内しています。

<問い合わせ先> 学生支援課学生支援係 (TEL 072-978-3312)

(4) 学生宿舎

【学生宿舎の概要】

所 在 地	大阪教育大学柏原キャンパス内 (大阪府柏原市旭ヶ丘 4-698-1)
収 容 定 員	男子棟(60人)・女子棟(80人)
寄 宿 料 等 (月 額)	5,000円 (その他共益費として700円, 光熱水料費として月額約6,000円程度) ※寄宿料, 共益費は令和3年度の金額であり, 改定が行われた場合には, 改定時から適用されます。
食 事	食事提供はありませんが, 各階「補食室」での自炊は可能です。
居 室	1人部屋【補食室, トイレ・浴室, シャワー室(女子のみ), 洗面所, 洗濯室は共同】
居 室 面 積	約8㎡(約4.5畳)
入 居 期 間	原則として2年間。退去日は入居期間満了年度の3月27日までですが, 引き続き入居を希望する場合は再審査申請後, 入居専攻の上, 継続入居が許可されます。

【募集予定人数・入居資格・選考方法】

募 集 予 定 人 数	未定
入 居 資 格	下記のすべてに該当する者 1. 学部・大学院・特別支援教育特別専攻科に在籍する学生 (外国人留学生は除く) 2. 自宅から本学までの通学時間が片道2時間以上で通学が困難な者 3. 寮生相互の親睦や交流を積極的にはかり, 協力・協調して団体生活を送れる者
選 考 方 法	通学時間, 家計状況(家族の所得等)を基に選考します。

(注) 入居申請手続及び申請に必要な書類は, 合格者に送付する入学手続関係書類を参照してください。

入居申請受付期間は, 学校推薦型選抜, 前期日程, 後期日程等によってそれぞれ異なりますので, 書類を受理したら提出方法等を確認のうえ, 所定の期日までに申請してください。

なお, 申請に必要な証明書類等に不備がある場合は, 受付できませんので, 提出書類等詳細も必ず確認のうえ予め準備してください。

大学ウェブページ(<https://osaka-kyoiku.ac.jp/campus/gakusei/syukusya.html>)でも案内しています。

<問い合わせ先> 学生支援課学生支援係 (TEL 072-978-3312)

(5) ノートパソコンの必携について

ア はじめに

本学では、授業とレポート作成や論文作成など、大学生活の中で数多くの機会にパソコンを活用します。

みなさんの大学卒業時には、獲得した知識とスキルを教育現場や社会で十分に発揮できるように、自分専用のノートパソコンを用いてさまざまな活動を行ってもらうことを目的とし、みなさんのノートパソコンを大学へ持参していただいています。

イ 持参していただくノートパソコン

本学が指定する必要条件(最低限必要な機能・性能等)を満たす自分専用のノートパソコンを入学までにご用意ください。

必要条件を満たせば、既にお持ちのノートパソコンを使用していただいて結構です。本学では、特定の機種を指定して購入をお願いすることはしていません。

詳しくは合格者に送付する入学手続関係書類に同封する「ノートパソコンの必携についてのご案内」にてお知らせします。

なお、令和4年度の新入生向けノートパソコン必要条件は、前年度の必要条件とほぼ同様となる予定です。

ウ 貸与

やむを得ない事情で、ノートパソコンの貸与を必要とされる方には、「ノートパソコン貸与基準」により審査を通過した者に、原則入学後6ヶ月間に限り大学から貸与します。

参考

- ・ノートパソコンの必要条件(前年度の内容です)

<https://www.osaka-kyoiku.ac.jp/~ipc/byod/>

- ・ノートパソコン貸与基準

<https://www.osaka-kyoiku.ac.jp/~ipc/byod/taiyo2021.html>

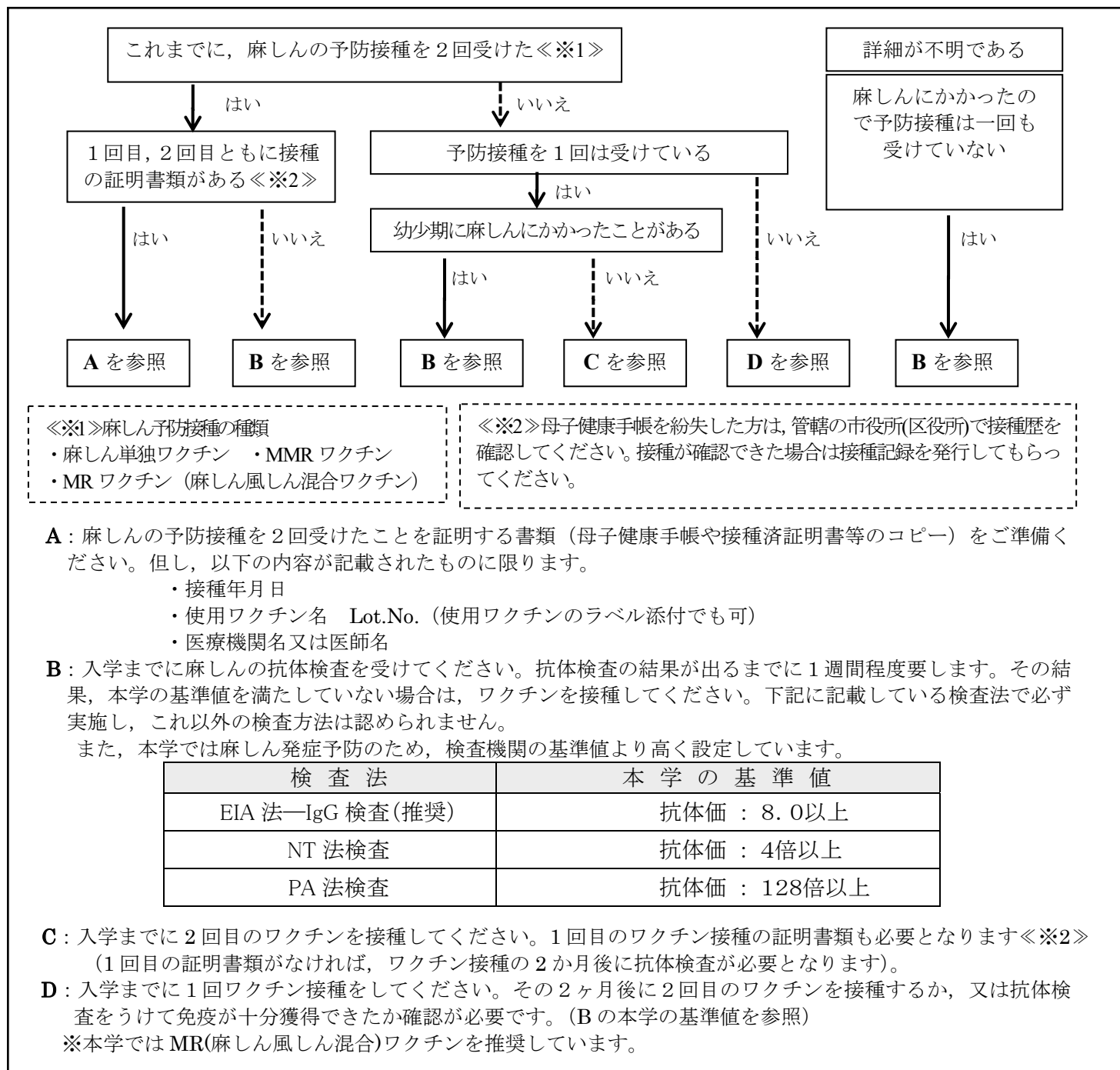
<ノートパソコン必携に関する問い合わせ窓口>

大阪教育大学 情報企画室 TEL : 072-978-3772 (受付時間 平日 9:00~17:00)

麻しん（はしか）の予防について《お知らせ》

厚生労働省は、2007年に高校・大学を中心とした学校等での麻しん（はしか）流行を経験したことから、麻しん予防を学校保健上の重要な課題として位置づけ、文部科学省と協力の上、麻しんの流行をなくすため、予防に有効なワクチンの2回接種を強く勧奨しています。これに基づき、本学入学試験合格者は、入学手続き書類として【麻しん（はしか）に関する確認書】の提出が必要です。合格者の年齢に関係なく、全員が対象となります。

本学所定の【麻しん（はしか）に関する確認書】は、入学手続き関係書類等と一緒に送付されます。お手元に届いてから入学手続きまでの期間が短い場合があります。下記のフローチャートを参考に、早めにご準備ください。



【麻しん（はしか）に関する確認書】については、入学手続きに関する事前のお知らせです。
入学試験の出願や受験には関係ありません。

＜問い合わせ先＞ 大阪教育大学保健センター TEL 072-978-3811(受付時間 平日9:00～16:00)

令和4年度大学入学共通テスト受験教科・科目の確認表 (共通テストを課す学校推薦型選抜(特別枠を含む)のみ)

大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜(特別枠を含む)の出願にあたっては、本学が各募集区分で指定した令和4年度大学入学共通テストの教科・科目を受験することを、以下の方法により志願者本人の責任で確認してください。1科目でも受験していない者は、選抜の対象にはなりません。(課す推薦(特別枠)については、最終合格者として決定しません。)

下記の確認表で志望する課程専攻に該当するものを選んで、受験科目欄において受験するすべての科目に○を記入してください。確認表は、科目名の下に本学の教科・科目の指定に合わせて△や○などの印を付しており、教科名の上に指定する科目数を①(1科目)、②(2科目)と表記しています。従って、受験科目欄にそれに一致する数以上の○が記入されていれば、本学が各募集区分で指定した教科・科目を受験していることになります。なお、指定した教科・科目数を超えて受験する場合(△1科目のところ2つの○が入るなど)、どの科目の成績が利用されるかは44～47及び61頁にも記載しています。

なお、数学②の線を付している科目については、定められた条件(47及び61頁参照)を満たす者以外は利用できませんので、利用する志願者は出願前に入試課に確認してください。また、地理歴史及び公民においては、2科目受験の場合、2科目とも一方の教科を受験すれば5教科、1科目ずつ両教科から受験すれば6教科と数えます。

学校教育教員養成課程	特別支援教育専攻／小中教育専攻(学校教育コース・国語教育コース・社会科教育コース)
教育協働学科	中等教育専攻(国語教育コース・社会科教育コース)
	グローバル教育専攻 英語コミュニケーションコース

↳ 5教科7～8科目又は6教科7～8科目(うち地理歴史及び公民が2科目)

	①	②						② 又は ①		①	①		①		①															
	国語	地 理 歴 史				公 民		理 科 ①		理 科 ②		数 学 ①		数 学 ②		外 国 語														
	国 語	世 界 史 A	世 界 史 B	日 本 史 A	日 本 史 B	地 理 A	地 理 B	現 代 社 会	倫 理	政 治 ・ 経 済	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	物 理 基 礎	化 学 基 礎	生 物 基 礎	地 学 基 礎	物 理	化 学	生 物	地 学	数 学 I	数 学 I ・ A	数 学 II	数 学 II ・ B	簿 記 ・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	英 (リ ス ニ ン グ を 含 む) 語	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語
	◎	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	☆	☆	☆	☆	▽	▽	▽	▽	◇	◇	□	□	□	□	○	○	○	○	○
受験科目																														

受験科目欄に ◎に1, △に2, ☆に2又は▽に1, ◇に1, □に1, ○に1 以上の数の○が入れば指定した教科・科目を受験していることになります。

科目数の指定を超えて、理科▽2 の者は、理科の第1解答科目の成績を用います。

理科☆2並びに理科▽1 の者は、高得点となる方の成績を用います。

初等教育教員養成課程 幼児教育専攻／小学校教育専攻（昼間コース・夜間５年コース）
 学校教育教員養成課程 小中教育専攻（英語教育コース・家政教育コース）
 中等教育専攻（英語教育コース・家政教育コース）

↳ ５教科 ７～８科目又は６教科 ７～８科目（うち地理歴史及び公民が１科目 又は ２科目）

①		① 〔 ② 〕				★②並びに▼① 又は ▼② 〔 ★② 又は ▼① 〕				①	①	①																		
国語	地 理 歴 史				公 民				理 科 ①		理 科 ②		数学 ①	数 学 ②		外 国 語														
国 語	世 界 史 A	世 界 史 B	日 本 史 A	日 本 史 B	地 理 A	地 理 B	現 代 社 会	倫 理	政 治 ・ 経 済	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	物 理 基 礎	化 学 基 礎	生 物 基 礎	地 学 基 礎	物 理	化 学	生 物	地 学	数 学 I	数 学 I ・ A	数 学 II	数 学 II ・ B	簿 記 ・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	英 （ リスニングを含む ）	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語	
◎	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	★	★	★	★	▼	▼	▼	▼	◇	◇	□	□	□	□	□	○	○	○	○	○
受験科目																														

受験科目欄に ◎に１，▲に１又は２（※▲に１のときは★に２並びに▼に１又は▼に２，▲に２のときは★に２又は▼に１），◇に１，□に１，○に１ 以上の数の○が入れば指定した教科・科目を受験したことになります。

科目数の指定を超えて、地理歴史及び公民▲２と理科▼２で合計４ の者は、地理歴史及び公民の第１解答科目，理科の第１解答科目，並びに地理歴史及び公民と理科の第２解答科目のうち高得点の科目の成績を用います。

地理歴史及び公民▲２と理科★２並びに▼１で合計５ の者は、地理歴史及び公民の第１解答科目，理科の高得点となる方の成績，並びに地理歴史及び公民の第２解答科目と理科のもう一方の成績のうち高得点となる方の成績を用います。

学校教育教員養成課程 小中教育専攻（理科教育コース）
 中等教育専攻（理科教育コース）

↳ ５教科 ７～８科目（うち地理歴史、公民が１科目）

		①		①				☆②並びに▽① 又は ▽②								①		①		①											
国語		地 理 歴 史				公 民				理 科 ①				理 科 ②				数学 ①		数 学 ②		外 国 語									
国 語		世 界 史 A	世 界 史 B	日 本 史 A	日 本 史 B	地 理 A	地 理 B	現 代 社 会	倫 理	政 治 ・ 経 済	倫 理 ・ 政 治 ・ 経 済	物 理 基 礎	化 学 基 礎	生 物 基 礎	地 学 基 礎	物 理	化 学	生 物	地 学	数 学 I	数 学 I ・ A	数 学 II	数 学 II ・ B	簿 記 ・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	英 (リスニングを含む) 語	ド イ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語	
◎		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	☆	☆	☆	☆	▽	▽	▽	▽	◇	◇	□	□	□	□	□	○	○	○	○	○
受験科目																															

受験科目欄に ◎に１，△に１，☆に２並びに▽に１又は▽に２，◇に１，□に１，○に１ 以上の数の○が入れば指定した教科・科目を受験したことになります。

科目数の指定を超えて、地理歴史及び公民△に２ の者は、地理歴史及び公民の第１解答科目の成績を用います。

学校教育教員養成課程 小中教育専攻 音楽教育コース／中等教育専攻（保健体育コース・音楽教育コース）

↳ 5教科5～6科目（うち地理歴史、公民が1科目）

①		①						☆② 又は ▽①				①				①														
国語		地 理 歴 史				公 民			理 科 ①		理 科 ②		数学 ①	数 学 ②			外 国 語													
国 語		世 界 史 A	世 界 史 B	日 本 史 A	日 本 史 B	地 理 A	地 理 B	現 代 社 会	倫 理	政 治・ 経 済	倫 理・ 政 治・ 経 済	物 理 基 礎	化 学 基 礎	生 物 基 礎	地 学 基 礎	物 理	化 学	生 物	地 学	数 学 I ・ A	数 学 II ・ B	簿 記・ 会 計	情 報 関 係 基 礎	英 語 (リスニングを含む)	ド イ ッ ツ 語	フ ラ ン ス 語	中 国 語	韓 国 語		
◎		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	☆	☆	☆	☆	▽	▽	▽	▽	◆	◆	◆	◆	◆	◆	○	○	○	○	○
受験科目																														

受験科目欄に ◎に1，△に1，☆に2又は▽に1，◆に1，○に1 以上の数の○が入れば指定した教科・科目を受験していることになります。

科目数の指定を超えて、地理歴史及び公民△2 の者、又は理科▽2 の者は、それぞれの第1解答科目の成績を用います。理科☆2並びに理科▽1 の者、又は数学◆2 の者は、それぞれの高得点となる方の成績を用います。

教育協働学科 グローバル教育専攻 多文化リテラシーコース

↳ 3教科3～4科目

①		■① 又は ★②														①													
国語		地 理 歴 史				公 民				理 科 ①				理 科 ②				数学 ①		数 学 ②			外 国 語						
国	語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理・政治・経済	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理学	化学	生物学	数学I	数学Ⅰ・A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・B	簿記・会計	情報関係基礎	英語 (リスニングを含む)	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
語	◎	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	★	★	★	★	■	■	■	■	■	■	■	■	■	○	○	○	○	○
受験科目																													

受験科目欄に ◎に1，■に1又は★に2，○に1 以上の数の○が入れば指定した教科・科目を受験していることになります。

科目数の指定を超えて、■に2以上の者は、数学の各科目、地理歴史及び公民の第1解答科目、及び理科の第1解答科目のうち、最高得点の科目の成績を用います。（ただし、★に2並びに■に1以上の者は、数学の各科目、地理歴史及び公民の第1解答科目、及び理科の高得点となる方の成績のうち、最高得点となる方の成績を用います。）

インターネット出願方法

インターネット出願を行うには、STEP1～6の手順で申し込みを行ってください。入学検定料等のお支払いについては、現金でお支払いの場合とクレジットカードでお支払いの場合で、手順が異なりますのでご注意ください。よくある質問を 85 頁に掲載していますのであわせてご確認ください。

STEP1 出願の流れ

出願の流れは、以下のとおりです。



STEP2 出願登録前の準備

本学が出願登録業務を委託した外部ウェブサイトを使用します。出願申込を行っていただくにあたり、以下の環境が必要となります。

1.推奨環境



<パソコン>

(Windows) Internet Explorer バージョン 11.0 以降 Microsoft Edge 91.0 以降 Google Chrome91.0 以降
(Mac) macOS 14.6 以降 Safari 14.1 以降

<スマートフォン・タブレット> iOS 14.6 以降 Safari 14.1 以降 Android 10.0 以降 Google Chrome91.0 以降
ポップアップブロックを無効に設定してください。

推奨 WEB ブラウザ以外のブラウザをご使用の場合、正常に動作しないことがあります。インターネット出願では cookie (クッキー) 及び JavaScript を使用しています。ご使用のブラウザの設定画面にて、cookie 及び JavaScript を「有効にする」に設定してください。Android スマートフォン・タブレットをご使用の場合は、ご使用機種種の標準ブラウザでは提出用書類 (PDF) がダウンロードできない場合があります。Android スマートフォン・タブレットのブラウザは Chrome をご使用ください。

2.PDF



募集要項、入学検定料等支払い受付後の「提出用書類」は PDF 又は GoogleDocs で表示されます。

※PDF で文書をご覧いただく場合は、アドビシステムズ社の Adobe Reader が必要です(無償)。

ご利用のパソコンに Adobe Reader がインストールされていない場合は、最新版をインストールしてください。

※スマートフォン、タブレットでご覧いただいている場合は、GoogleDocs での表示を推奨しています。(閲覧に際し、アプリのダウンロードなどは必要ありません)

3.プリンタ



入学検定料等支払い受付後の「提出用書類」を印刷するためにプリンタが必要です。ご使用のパソコンにプリンタが接続されていることを確認してください。必ず A4 用紙に印刷してください。

※プリンタをご使用できない環境の場合、「提出用書類」は PDF 形式で表示されますので、PDF ファイルを保存し、保存したファイルを別途印刷してください。

4.メールアドレス



志願者情報登録時に登録していただいたメールアドレスに、受付のお知らせメールをお送りします。※メール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあります。@sak-sak.net を受信可能なドメインとして設定してください。

5.お支払いについて

入学検定料等のお支払いは、クレジットカード、コンビニエンスストア、ネットバンキング、Pay-easy が利用可能です。

①コンビニエンスストア、ネットバンキング、Pay-easy のお支払い手順

コンビニエンスストア、ネットバンキング、Pay-easy でお支払いの方は、インターネット出願サイト内で支払い方法を選択（STEP3-11）、支払い情報を確認（STEP3-13）し、お支払い期日内に選択した各機関でお支払いください。（STEP5）



【利用可能な支払い方法】

・コンビニエンスストア

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、セブンイレブン、デイリーヤマザキ・ヤマザキデイリーストア、セイコーマート

・ネットバンキング

PayPay 銀行、ゆうちょ銀行、楽天銀行、au じぶん銀行 等

・Pay-easy（ペイジー）を利用可能な ATM

②クレジットカードのお支払い手順

クレジットカードでお支払いの方は、インターネット出願サイト内で支払い方法を選択し（STEP3-11）、クレジットカード情報入力画面でクレジットカードによるお支払いを行ってください。



【利用可能なクレジットカード】

VISA, MasterCard

6.チェックリスト

作業開始前に以下のものが準備できているか確認してください。インターネット出願は登録中であっても、30分以上操作を行わなかった場合には、データが消去されてしまいますのでご注意ください。

✓	準備するもの	備考
	パソコン・スマートフォン等の動作環境	インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。自宅にパソコン等がない場合は、学校等のパソコン等から出願してください。
	印刷環境（カラー推奨）	郵送が必要な書類をA4用紙で印刷します。書類印刷は、白黒印刷でもかまいません。ただし、写真を自宅で印刷される場合は、必ずカラー印刷してください。
	メールアドレス	日常的に確認しやすいもの。出願登録時に必要となります。メール受信設定でドメインの設定を行っている場合は、「@sak-sak.net」を受信可能なドメインとして設定してください。 ※インターネット出願の志願者情報入力画面（78頁参照）で、メールの受信確認が可能ですので、必ず確認してください。
	写真	2枚（同一）が必要です。カラー、背景無地、正面、上半身、脱帽、縦4cm×横3cm、3か月以内に撮影したもの。 自宅のプリンタ等で写真を印刷する場合は、荒く印刷され、確認づらい写真となる場合は不備となる可能性があるため、注意してください。
	出願に必要な書類	志望する専攻、コース等により必要書類が異なります。募集要項20～21頁（課さない推薦）、38～40頁（課す推薦）、59頁（課す推薦（特別枠））を参照して、必ず提出期間内に間に合うように郵送してください。 ※提出期間後に到着した場合は、11月3日（水・祝）までの発信局消印がある書留速達郵便を除き、受理しないので、郵便事情を考慮し、余裕をもって早めに郵送してください。
	封筒	必要書類送付のために市販の角2封筒（24cm×33.2cm）をご用意ください。

STEP 3 インターネット出願登録

1. インターネット出願登録ページへアクセスする。

<https://sak-sak.net/app/oku>



2. 出願の開始

出願開始前の確認事項をよく読み、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）及び個人情報の取り扱いについて「同意チェック欄」にチェックをした上で、利用案内ページの「出願開始」ボタンをクリックします。

【登録後出願状況の確認を行う場合】

ユーザーIDとパスワードを入力の上、「出願状況確認」ボタンをクリックしてください。「出願内容選択」画面が表示されるので、確認したい出願受付番号をクリックしてください。

【2回目以降の出願の場合】

ユーザーIDとパスワードを入力して、「出願開始（ユーザー登録済の方）」ボタンをクリックしてください。

3. 「志願票の選択」で日程の選択

出願する試験を志願票種類から選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

4. 「試験選択」で受験する課程・学科を選択



出願する課程・学科等を選択してください。

※出願可能な日程には○ボタンが表示されています。○ボタンにカーソルを合わせ、選択してください。

5. 「志願先選択」で受験する専攻・コース等を選択



出願する専攻・コース等を選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

※出願する専攻・コース等によっては「志願先付属情報」の入力を求められますので、必要に応じて入力してください。

※実技試験を選択する者で、曲名等を登録して申請する必要がある者は、「志願先付属情報」で入力してください。

6. 「科目選択」で選択又は確認（専攻・コースによって異なる）



画面の指示に従って「科目選択」で実技科目の選択、又は「科目確認」で受験する科目の確認を行ってください。

「次へ」ボタンをクリックしてください。

7. 「試験場確認」で試験場を確認



試験場を確認し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

8. 「試験選択（出願試験確認）」で確認

「試験選択」の画面が表示され、出願した課程・学科等に「出願済」と表示され、画面下部の選択中試験内容欄に選択内容が表示されます。間違いがなければ「次へ」ボタンをクリックしてください。

※出願内容を訂正する場合は、選択中試験内容欄の処理区分の「訂正」ボタンをクリックしてください。「5. 志願先選択」から入力し直すことができます。

※出願内容を削除する場合は、選択中試験内容欄の処理区分の「削除」ボタンをクリックしてください。

9. 「志願者情報入力」で個人情報を入力

志願者情報を入力し、「確認画面へ」ボタンをクリックしてください。その際、メールの受信確認は必ず行ってください。

※「確認画面へ」ボタンをクリックした際にエラーチェックが行われます。エラーがある場合は、画面上部と該当項目にエラーメッセージが表示されますので、エラー箇所を訂正し再度「確認画面へ」ボタンをクリックしてください。

※エラーが存在しない場合は、入力確認画面が表示されます。

※特に「住所（漢字）」と「受験票送付先住所（漢字）」の入力内容に間違いが無いか確認してください。

10. 「志願者情報入力確認」で確認

大原教育大学入学試験 出願

出願登録 出願金

1 出願登録 2 出願情報入力 3 志願者情報入力確認 4 支払方法選択 5 最終確認

志願者情報入力確認

志願者情報を確認し、訂正がなければ「支払方法選択へ」ボタンをクリックしてください。
訂正する場合は「戻る」ボタンをクリックしてください。

氏名	大原太郎
氏名(英字)	ダイモウ タロウ
生年月日(西暦)	2000年3月1日
性別	男性
センター一般選抜番号	11111-1111A-1
郵便番号	582-0001
住所(漢字)	大原市佐野市数通 4-6-9-1 郵便マシヤンク 4階 303号室
TEL	079-978-3324
本人照像	
郵便番号(住所用)	582-0001
郵便番号(住所用) (漢字)	大原市佐野市数通 4-6-9-1 郵便マシヤンク 4階 303号室
メールアドレス	23456789@gmail.ac.jp
所属校	270015 大原 通信 大原教育大学附属天王寺 (通信学校)
学年	1・高専1
卒業・退学年月(西暦)	2019年3月卒業済み
上記「学年」に「X」は「X」を記入してください	
パスワード	11112222
パスワード	*****

戻る 支払方法選択へ

画面の指示に従って、「志願者情報入力確認」で訂正がないか、確認してください。

出願登録完了後の登録内容の変更は出来ませんので、登録した内容を十分に確認してください。

訂正がなければ「支払方法選択へ」ボタンをクリックしてください。
訂正する場合は「戻る」ボタンをクリックしてください。

11. 「支払方法選択」で支払方法を選択

大原教育大学入学試験 出願

出願登録 出願金

1 出願登録 2 出願情報入力 3 志願者情報入力確認 4 支払方法選択 5 最終確認

支払方法選択

「クレジットカードでお支払い」、「コンビニエンスストア、ネットバンキング、Pay-easyでお支払い」のいずれかを選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。
登録完了後に決済サイトへご案内します。決済サイトにてお支払い方法を選択し、入学検定料をお支払いください。

入学検定料 17,372円 ※別途システム利用料がかかります。

お支払い方法

☐ クレジットカードでお支払い VISA JCB

☐ コンビニエンスストア、ネットバンキング、Pay-easyでお支払い JCB 楽天カード 三井住友カード 三菱UFJカード 住友カード 交通カード 郵便局カード

【お支払い方法について】

① コンビニエンスストアでお支払い ② ネットバンキングでお支払い ③ Pay-easyでお支払い

※コンビニエンスストア、ネットバンキング、Pay-easyでお支払いの場合は、決済サイトの画面表示後必ず入学検定料をお支払いください。

戻る 次へ

支払方法を選択し、「次へ」ボタンをクリックしてください。

【コンビニ、ネットバンキング、Pay-easyでお支払いの場合】

「12 最終確認」の画面に遷移します。

(※当処理では検定料のお支払いは完了していません)

【クレジットカードでお支払いの場合】

クレジットカード情報入力画面でクレジットカードによるお支払いを行ってください。

(※当処理で検定料のお支払いが完了します)

1 2. 最終確認

お支払い内容、志願者情報、試験情報を確認し、「出願」ボタンをクリックしてください。

訂正する場合は、訂正箇所の戻るボタンをクリックし、訂正を行ってください。

- ◆「支払方法選択へ戻る」ボタン・・・支払方法の訂正
- ◆「志願者情報入力へ戻る」ボタン・・・志願者情報の訂正
- ◆「試験情報選択へ戻る」ボタン・・・試験情報選択の訂正

1 3. 出願情報登録完了・出願受付完了

【コンビニ、ネットバンキング、Pay-easyの場合】

画面に「出願情報登録完了」と表示されます。

<出願受付番号>

出願受付番号は、出願受付に関する問い合わせ等で必要となります（※「受験申込み受付のお知らせメール」にも記載されていますが、念のためメモをお取りください。）

<提出用書類の印刷>→STEP4へ

「提出用書類印刷」ボタンをクリックし、提出用書類を印刷してください。

<支払手続き>→STEP5へ

「お支払い方法選択」ボタンをクリックし、支払い手続きを行ってください。支払期日内に選択した支払い方法（コンビニ、ネットバンキング、Pay-easy）で入学検定料等の支払いを行ってください。

【クレジットカードの場合】

画面に「出願受付完了」と表示されます。

<出願受付番号>

出願受付番号は、出願受付に関する問い合わせ等で必要となります。（※「受験申込み受付のお知らせメール」にも記載されていますが、念のためメモをお取りください。）

<提出用書類の印刷>→STEP4へ

「提出用書類印刷」ボタンをクリックし、提出用書類を印刷してください。

STEP 4 提出用書類の印刷，作成，確認

STEP3-13 の「提出用書類の印刷」画面から，必要書類をダウンロードしてください。提出用の書類は **A4 サイズ** の白の用紙に**片面印刷**（カラー推奨・白黒可）してください。縮小や拡大しての印刷，両面印刷したものは提出しないでください。印字内容を確認の上，以下のとおり書類を作成ください。送付ラベルを市販の角 2 封筒に貼り付けて，20～21 頁・38～40・59 頁に記載の必要書類を**書留速達**にて出願受付期間内に郵送してください。

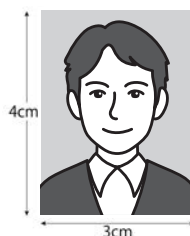
1. 出願確認票

- ◆ 印字内容を確認してください。
- ◆ コンビニエンスストアや Pay-easy で入学検定料等を支払った場合は，領収書（明細票）を自宅で保管しておいてください。

2. 写真票

- ◆ 写真（2 枚同一）を貼付してください。
- ◆ 写真裏面に氏名と志望専攻名を記入してください。

【適当な写真例】



カラー，背景無地，正面，上半身，脱帽，縦 4cm×横 3cm で 3 カ月以内に撮影したもの。

【不適当な写真例】



前髪が長すぎて目元が見えないもの



顔が大きすぎるもの



被写体が小さいもの



被写体が小さいもの



目を閉じているもの

3. 書類確認票

- ◆ 必要書類を再確認し、「チェック欄にレ印」を記入してください。
- ◆ 志願者氏名を記入し、必要書類とあわせて郵送してください。

4. 送付ラベル

- ◆ 市販の角2封筒に貼り付けて郵送してください。

STEP 5 入学検定料等のお支払い（コンビニ、ネットバンキング、Pay-easy）

入学検定料等は、出願確認票（本人控）に記載された支払期限までにお支払いください。入学検定料等の金額や注意事項などを19頁・37頁・58頁に記載していますので、あわせてご確認ください。

1. コンビニ・Pay-easyでお支払いの場合

「STEP3-13 出願情報登録完了・出願受付完了」画面で、「お支払い方法選択」ボタンをクリックし、お支払い受付番号の発行など支払いに必要な情報を入手してください。（※支払いのための受付番号等は、出願受付番号と異なりますのでご注意ください）

詳細な支払い手順については、次頁以降を参照するか、インターネット出願サイト（<https://sak-sak.net/app/oku>）の「利用案内」の「3. お支払いについて」をご確認ください。

2. ネットバンキングでお支払いの場合

「STEP3-13 出願情報登録完了・出願受付完了」画面で、「お支払い方法選択」ボタンをクリックし、画面の指示に従って手続きを行ってください。詳細な支払い手続きは、インターネット出願サイト（<https://sak-sak.net/app/oku>）の「利用案内」の「3. お支払いについて」をご確認ください。

※クレジットカードでお支払いを選択された場合は、「STEP3-11」で支払いが完了しています。

STEP 6 必要書類の郵送

出願確認票と同時に出力される「送付ラベル」を必要書類郵送用封筒（市販の角2封筒）の表面に貼付け、20～21頁・38～40頁・59頁を参照のうえ、提出用書類、調査書等の必要書類を「書留速達」で郵送してください。

LAWSON ローソン・ミニストップ



Loppiへ

1. Loppi のトップ画面左の「各種番号をお持ちの方」を押してください。
2. 「受付番号」(6 桁)を入力し、「次へ」ボタンを押してください。
3. インターネット出願画面で登録した「電話番号」を案内にしたがって入力してください。
4. お申込み内容の確認画面で内容をご確認いただいた後、「了解」ボタンを押してください。
5. 「申込券」が出力されますので、30 分以内にレジでお支払いください。

FamilyMart ファミリーマート



Fami ポートへ

1. Fami ポートのトップ画面左側の「代金支払い」を押してください。
2. 「番号を入力する」を選択してください。
3. 「第 1 番号」(6 桁)を入力し、OK ボタンを押してください。
4. 「第 2 番号」にインターネット出願画面で登録した「電話番号」を案内にしたがって入力してください。
5. お申込み内容の確認画面で内容をご確認いただいた後、「OK」ボタンを押してください。
6. 「Fami ポート申込券」が出力されますので、30 分以内にレジでお支払いください。

セブンイレブン



レジへ

1. セブン-イレブン代金収納サービス払込票 URL から「インターネットショッピング払込票」を印刷するか、「払込票」番号を控えて、お近くのセブン-イレブンのレジへ。
2. 「インターネットショッピング払込票」を店員に手渡すか、「インターネット代金の支払い」であることを告げ、「払込票番号」を伝え、お支払いください。

※画像はインターネットショッピング払込票をスマートフォンで表示した画面です。

デイリーヤマザキ・ヤマザキデイリーストア



レジへ

1. 「オンライン決済番号」が表示された画面を印刷するか、「オンライン決済番号」を控えて、お近くのデイリーヤマザキのレジへ。
2. 店員に、印刷した用紙を手渡すか、「オンライン決済」であることを告げてください。
3. レジのタッチパネルに「オンライン決済番号」を入力してください。
4. 内容をご確認いただいた後、確定ボタンを押していただき、代金をお支払いください。

※画像はオンライン決済番号をスマートフォンで表示した画面です。

セイコーマート



レジへ

1. レジにて「インターネット支払い」と告げてください。レジの画面に番号入力画面が表示されます。
2. 「お支払い受付番号」(6 桁)を入力してください。
3. インターネット出願画面で登録した「電話番号」を案内にしたがって入力してください。
4. お申込み内容の確認画面で内容をご確認いただいた後、「OK」ボタンを押してください。
5. 代金をお支払いください。

※コンビニをご利用の場合は、30 万円を超えるお支払いはできません。

※コンビニや ATM の端末操作方法や各種番号の桁数は変更になる可能性があります。

ペイジーでゆうちょ銀行/郵便局 ATMでお支払い



※左記のペイジーマーク表記のある ATM のみご利用いただけます。



ゆうちょ銀行/郵便局 ATMへ

1. 料金払込(ペイジー)ボタンを押してください。
2. 次に表示される画面で、手入力ボタンを押してください。
3. 収納機関番号画面で「収納機関番号 (58091)」を入力してください。
4. お客様番号画面でインターネット出願登録時の「電話番号」を入力してください。
5. 確認番号画面で「確認番号」(6桁)を入力してください。
6. 確認画面で入力した内容をご確認いただいた後、確認ボタンを押してください。
7. 振込内容をご確認いただいた後、確認ボタンを押してください。
8. お支払い方法 (現金又は通帳・カード) を選択してください。
9. お支払い方法別の案内にしたがって、支払いを行ってください。

ペイジーで各金融機関の ATMでお支払い



※左記のペイジーマーク表記のある ATM のみご利用いただけます。



※例. みずほ銀行の ATM

金融機関の ATMへ ※みずほ銀行の場合

1. 「税金・料金払込」ボタンを押してください。
2. 収納機関番号画面で「収納機関番号 (58091)」を入力してください。
3. お客様番号画面でインターネット出願登録時の「電話番号」を入力してください。
4. 確認番号画面で「確認番号」(6桁)を入力してください。
5. 確認画面で入力した内容をご確認いただいた後、確認ボタンを押してください。
6. お支払い方法 (現金又はキャッシュカード) を選択してください。
7. お支払い方法別の案内にしたがって、支払いを行ってください。

※ATMで現金でのお支払いの場合は、10万円を超えるお支払いはできません。

※コンビニやATMの端末操作方法や各種番号の桁数は変更になる可能性があります。

インターネット出願に関する Q&A

	質 問	回 答
利用環境について	スマートフォン、タブレット端末から出願できますか。印刷の方法も教えてください。	出願可能です。利用する機種により画面が正常に表示されない場合があります。その場合は、パソコンを利用してください。携帯電話からは利用できません。スマートフォンやタブレット端末から出願した場合は、無線接続機能があるご家庭のプリンタや、コンビニエンスストア等で印刷してください。 【コンビニエンスストアでの印刷方法】 *ご利用可能なコンビニエンスストア ローソン、ファミリーマート、セブンイレブン、ミニストップ *ご利用方法について ・ローソン、ファミリーマートの場合 (https://networkprint.ne.jp/printsmash/ja/detail.html) ・セブンイレブンの場合 (https://www.printing.ne.jp/) ・ミニストップの場合 (https://www.ricoh.co.jp/mfpmc/)
	携帯電話から入学検定料等支払い手続きはできますか？	利用できません。パソコン、スマートフォン、タブレットの利用を対象としています。
	自宅にプリンタがありません。	以下の方法等で印刷してください。 ①学校等のプリンタで印刷。 ②コンビニエンスストアのマルチコピー機より印刷。 ※印刷方法は上の質問の【コンビニエンスストアでの印刷方法】を参照してください。
	メールアドレスはスマートフォン用や携帯電話のものをえますか。	利用可能です。メール受信設定でドメイン設定を行っている場合はメールが届かないことがあるため、「@sak-sak.net」を受信可能なドメインとして設定してください。登録したメールアドレスには、大学から大切な連絡が届く場合がありますので、 <u>必ず受信設定を行うようにしてください。</u>
インターネット出願について	メールアドレスを持っていません。	メールアドレスの登録は必須です。 本人のメールアドレスがない場合はご家族のメールアドレスで登録してもかまいません。出願登録完了及び入金完了の確認メールを送信するために使用します。メールアドレスに誤りがある場合は確認メールが送信されませんので、登録画面で必ずメール受信確認を行ってください。
	ボタンをクリックしても反応しません。又は次の画面で正しい内容が表示されません。	*cookie（クッキー）の設定が有効であるか確認してください。 cookie を使用しているため、必ずブラウザの設定を「cookie を受付ける（有効にする）」にしてください。 【cookie の確認、設定方法】【Internet Explorer の場合】 「ツール」⇒「インターネットオプション」⇒「プライバシー」⇒「詳細設定」をクリックし、「自動 Cookie 処理を上書きする(0)」にチェックを入れ、その下にある「常にセッション Cookie を許可する」にもチェックを入れてください。 *JavaScript が有効になっているか確認してください。 JavaScript を使用しているため、必ずブラウザの JavaScript を有効にしてください。 【JavaScript の設定方法】【Internet Explorer の場合】 「ツール」⇒「インターネットオプション」⇒「セキュリティ」⇒「レベルのカスタマイズ」を選択し、「スクリプト」⇒「アクティブ スクリプト」項目を「有効にする」にチェックを入れてください。
	「ご指定のページが見つかりません。」と表示されます。	一定時間操作を行わなかった場合、ブラウザの「戻る」「進む」ボタンをクリックした場合、出願登録画面を2画面以上開いた場合等に表示されることがあります。始めから出願登録をやり直してください。
	しばらく操作をしなかったら、タイムアウトになってしまいました。	30分以上操作を行わなかった場合には、登録途中であっても登録内容が消去されてしまいます。セッションタイムアウトの表示がでた場合は、始めから出願登録をやり直してください。

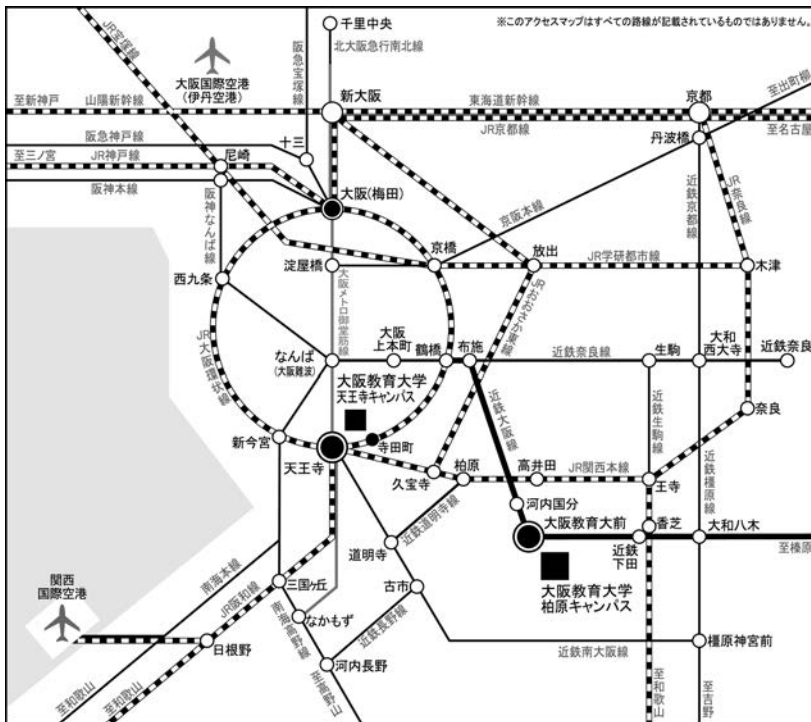
	質 問	回 答
インターネット出願について	途中でブラウザを閉じてしまいました。／途中でインターネット接続が切れてしまいました。	始めから出願登録をやり直してください。
	入学検定料等支払い手続き中に画面がフリーズしました。	【最終確認画面で「出願」をクリックする前の場合】 最初から入学検定料等支払い手続きをやり直してください。 【最終確認画面で「出願」をクリックした後の場合】 状況を確認しますので、入試課までお問い合わせください。
	提出用書類が開きません。（「この文書は有効な PDF 文書ではないため、開けません。」と表示される。）	パソコン（スマートフォンの場合は chrome を使用して）から利用案内画面にアクセスしてください。 利用案内画面にてユーザーID／パスワードを入力後、出願状況確認から該当の提出用書類をダウンロードしてください。
	氏名、住所の入力で正しい漢字が出ません。又は入力できません。	旧字等で正しく変換できなかったり、エラーになる場合は代替の文字(全角)を入力してください。 例) 高木→髙木、山崎→山崎, III（ローマ数字）→3
	受信確認メールが届きません。 受付完了メールが届きません。	メールアドレスが正しいか確認してください。また、迷惑メールとして受信している場合がありますので、受信拒否設定を確認してください。
	入学検定料以外の金額が記載されていますが、どのようなものですか。	必要金額は、入学検定料等 17, 344 円（入学検定料 17, 000 円＋受験票送付用郵便代 344 円）に加え、インターネット出願システム利用料 459 円です。なお、小学校教育専攻夜間 5 年コースに出願する場合は、入学検定料が 10, 000 円となり、10, 344 円とシステム利用料 459 円がかかります。
	出願完了後に内容の変更はできますか。	出願完了後に内容の変更はできませんので、十分注意してください。 ただし、最終確認画面で出願ボタンをクリックするまでは、前の画面に戻って入力内容を修正することができます。 また、コンビニエンスストア、ネットバンキング、ATM（ペイジー）での振り込みの場合で、支払前の場合は、その番号では振込をせず、修正後の内容で再度出願登録をした上で、新しい番号で手続をすることにより、修正後の内容で出願することができます。 クレジットカードで決済された場合は、振込手続が完了しているため、出願内容は変更できません。
	出願受付番号を忘れてしまいました。	出願受付完了メールや印刷した出願確認票の本人控にも記載されていますので、確認してください。また、利用案内画面からユーザーID／パスワードを入力後、出願状況確認画面で確認できます。
	ユーザーID を忘れてしまいました。	入試課までお問い合わせください。
	パスワードを忘れてしまいました。	トップページ (https://sak-sak.net/app/oku) にアクセスしてください。 ユーザーID／パスワード入力欄の下の「パスワードを忘れた方はこちら」をクリックしてください。ユーザー情報入力画面でユーザーID・生年月日を入力し、「パスワード再発行」ボタンをクリックしてください。入学検定料等支払い手続き時に登録したメールアドレスに新しいパスワードが送信されます。
	提出用書類を印刷し忘れしました。	出願状況確認画面で提出用書類の再印刷が可能です。出願状況確認画面は、利用案内画面より、ユーザーID／パスワードを入力すると開きます。出願状況確認画面で該当する出願受付番号を選択し、「提出用書類印刷」ボタンをクリックしてください。

	質 問	回 答
インターネット出願について	出願を取り消したいのですが。	入金前の場合は、そのまま入金しなければ、自動的にキャンセルと同じ扱いになります。 入金後の場合は、入金をキャンセルすることはできませんが、出願書類を郵送しなければ出願は完了しません。出願せず、入学検定料等の返還を希望する場合は、入試課にご連絡ください。返還手続きについてご案内いたします。 インターネットによる出願登録、入学検定料等の支払い、出願に必要な書類等の郵送での提出を全て終えた場合は、出願を取り消すことはできず、出願書類の返却、入学検定料等の返還はできません。
	入学検定料の免除について教えてください。	募集要項19頁（課さない推薦）、37頁（課す推薦）、58頁（課す推薦(特別枠)）にも記載がありますが、東日本大震災（平成23年3月11日発生）及び熊本地震（平成28年4月14日発生）により被災した志願者を対象に入学検定料の免除を行う場合があります。 以下の本学ウェブページを参照した上で、入試課にご連絡ください。 インターネット出願時の注意事項もありますので、必ず事前のご連絡をお願いします。 https://osaka-kyoiku.ac.jp/admission/nyushi/kenteiryoku_menjyo.html

問い合わせ先：入試課（０７２－９７８－３３２４） ※受付時間：平日９：００～１７：００

大学所在地略図

所在地 〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1



交通

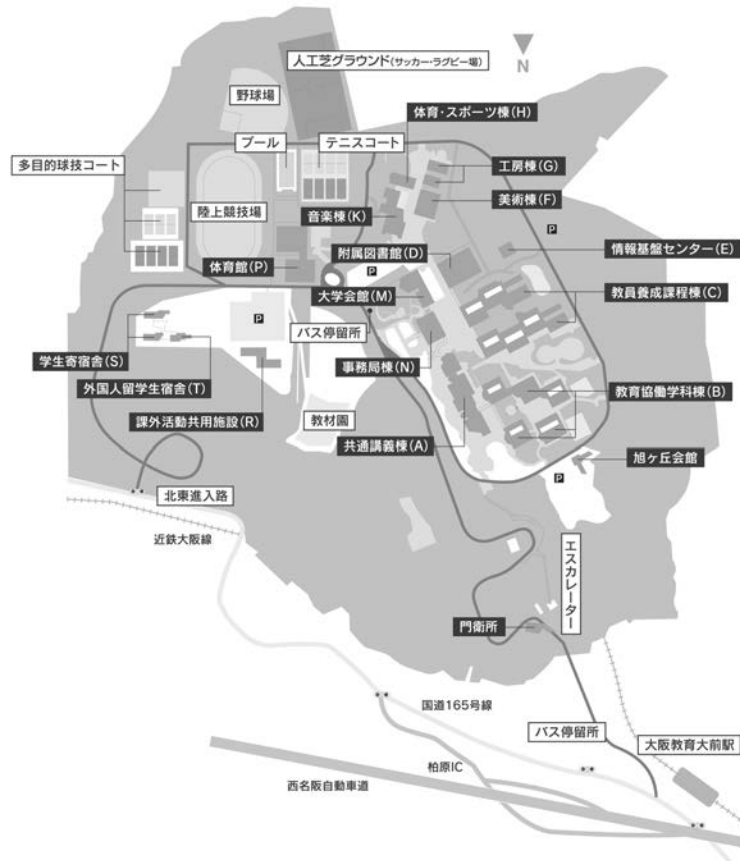
近鉄大阪線「大阪教育大前駅」下車
（「鶴橋駅」から約30分）

南東へ約1km

※上り専用エスカレーター（上り専用3基乗り継ぎ）、途中階段があります。

→令和3年9月15日（水）～12月24日（金）まで、エスカレーター1・2号機は工事を行いますので、運転を停止します（3号機は通常どおり運転します）。

入学試験場：柏原キャンパス



大阪教育大学では、下記の入試情報及び学生生活案内について本学ウェブページでお知らせしています。また、災害等により不測の事態が発生した場合も本学ウェブページで情報提供を行います。

- ・教育学部（一般選抜、学校推薦型選抜、私費外国人留学生、第3年次編入学）
- ・大学院教育学研究科（修士課程）
- ・大学院連合教職実践研究科（専門職学位課程）
- ・特別支援教育特別専攻科

ウェブページ
(PC・スマホ版)

<https://osaka-kyoiku.ac.jp/>



【資料請求について】

大学案内や募集要項等は、本学ウェブページから資料請求やPDF版をダウンロードすることが可能です。またテレメールサイトに右のQRコードからアクセスし、請求することもできます。

(※学校推薦型選抜及び一般選抜(前期・後期)は、紙の募集要項を発行していません)



問い合わせ先

大阪教育大学入試課

〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1

TEL 072-978-3324(入試課直通)

(受付時間：平日9：00～17：00)

FAX 072-978-3327

電子メール nyushika@bur.osaka-kyoiku.ac.jp